

# 5. 秋田県

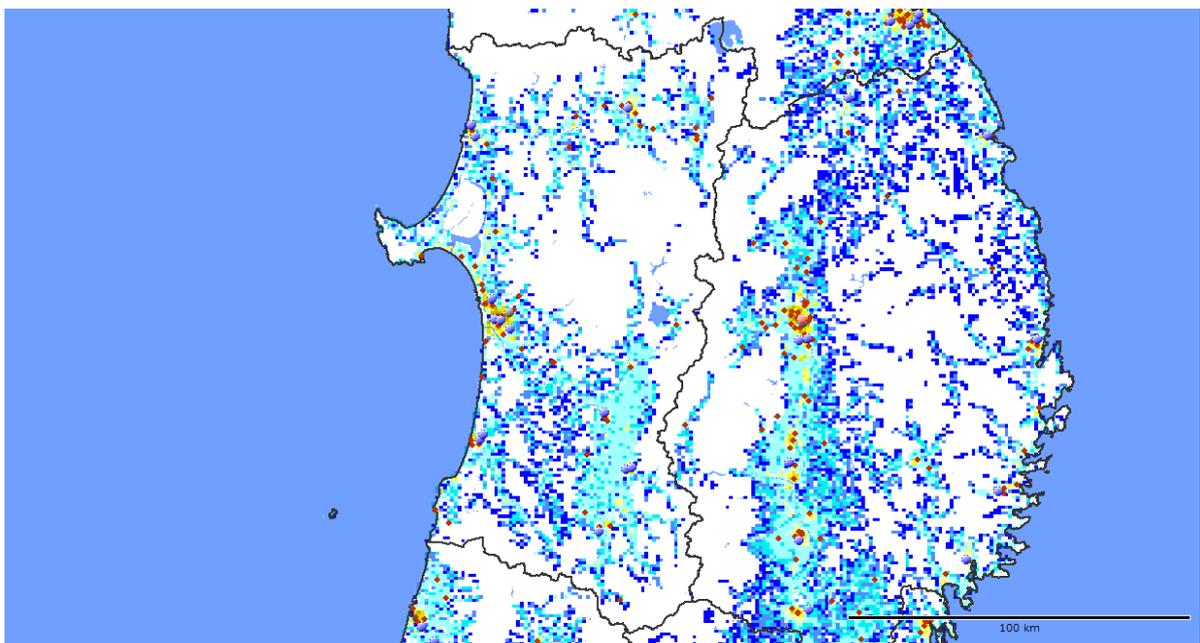


目次

秋田県	5 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	5 - 8
1. 大館・鹿角医療圏	5 - 26
2. 北秋田医療圏	5 - 31
3. 能代・山本医療圏	5 - 36
4. 秋田周辺医療圏	5 - 41
5. 由利本荘・にかほ医療圏	5 - 46
6. 大仙・仙北医療圏	5 - 51
7. 横手医療圏	5 - 56
8. 湯沢・雄勝医療圏	5 - 61

# 5. 秋田県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (秋田県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 秋田県は、総人口約1023千人(2015年)、面積11616km<sup>2</sup>、人口密度は88人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 秋田県の総人口は2025年に893千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に700千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の187千人が、2025年にかけて205千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には199千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 秋田県の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値58)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 秋田県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.88で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48(病院医師数49、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 秋田県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18125人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が12139床(偏差値53)、高齢者住宅等が5986床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17205人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム52、サ高住47である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2089人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

秋田県の総人口は、2005年1145501人が、2015年に1023119人と11%減少し、2025年の人口が893224人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

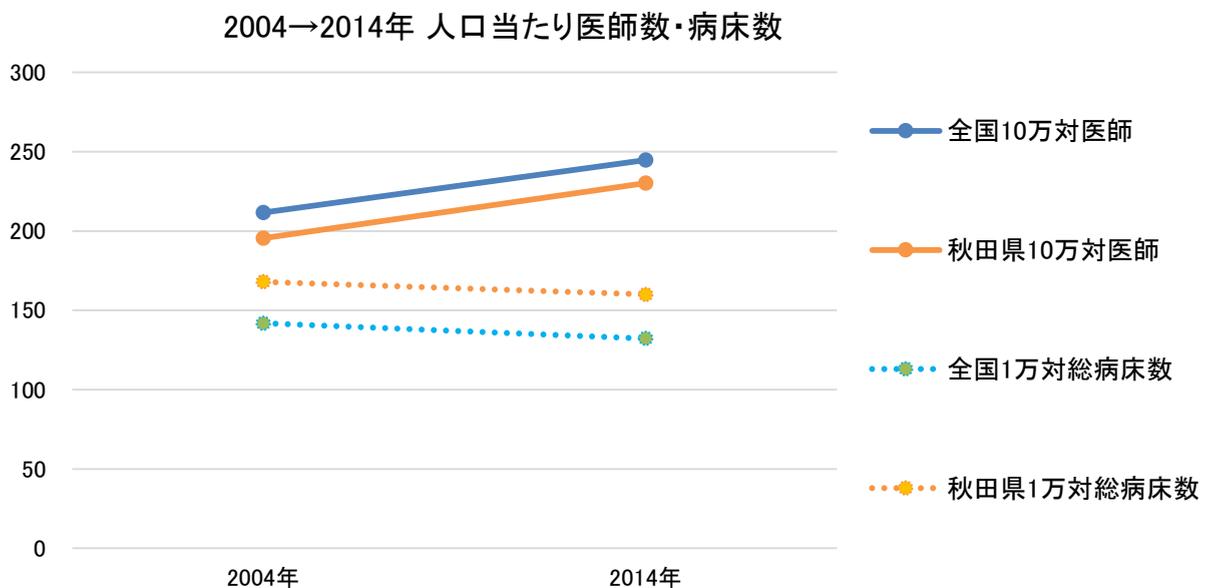
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が79(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に72(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が813(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に822(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値51)と、9診療所が増加した。

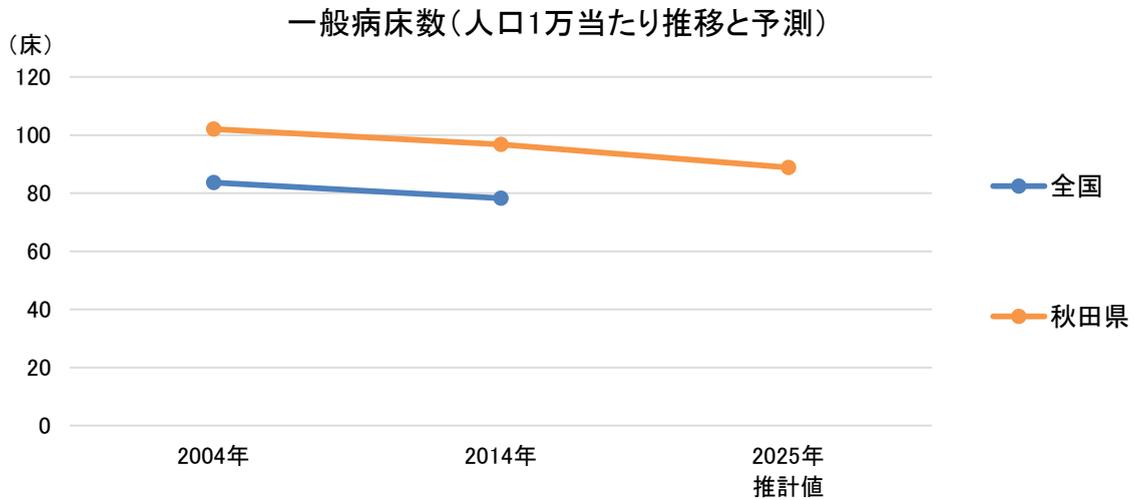
2004年の総病床数が19245床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に16368床(人口1万人当たり160(全国平均132)偏差値55)と、2877床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が2239人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に2355人(人口10万人当たり230人(全国平均245人)偏差値48)と、116人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



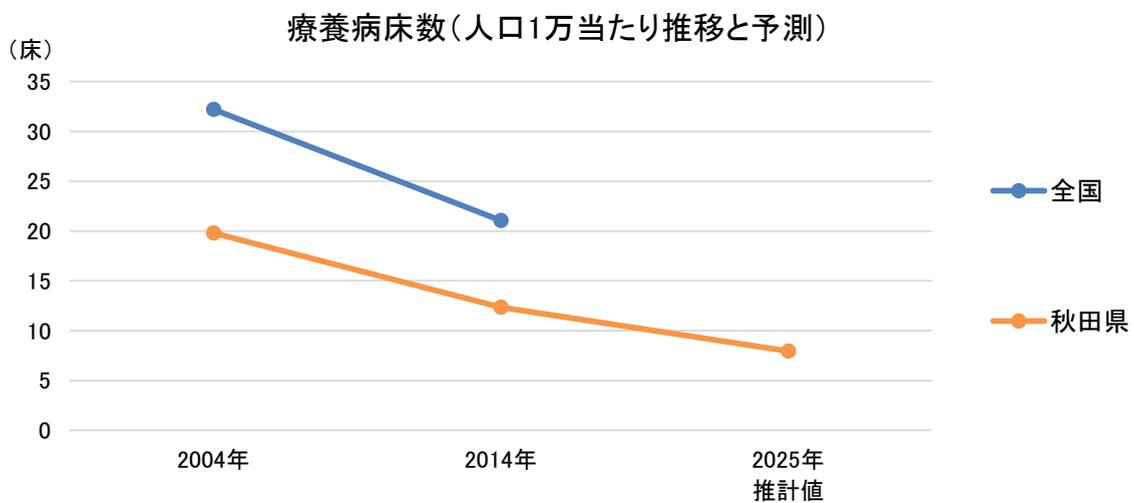
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が11690床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に9904床(人口1万人当たり97(全国平均78)偏差値57)と、1786床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7939床(2025年の推計人口1万人当たり89)になることが予想される。



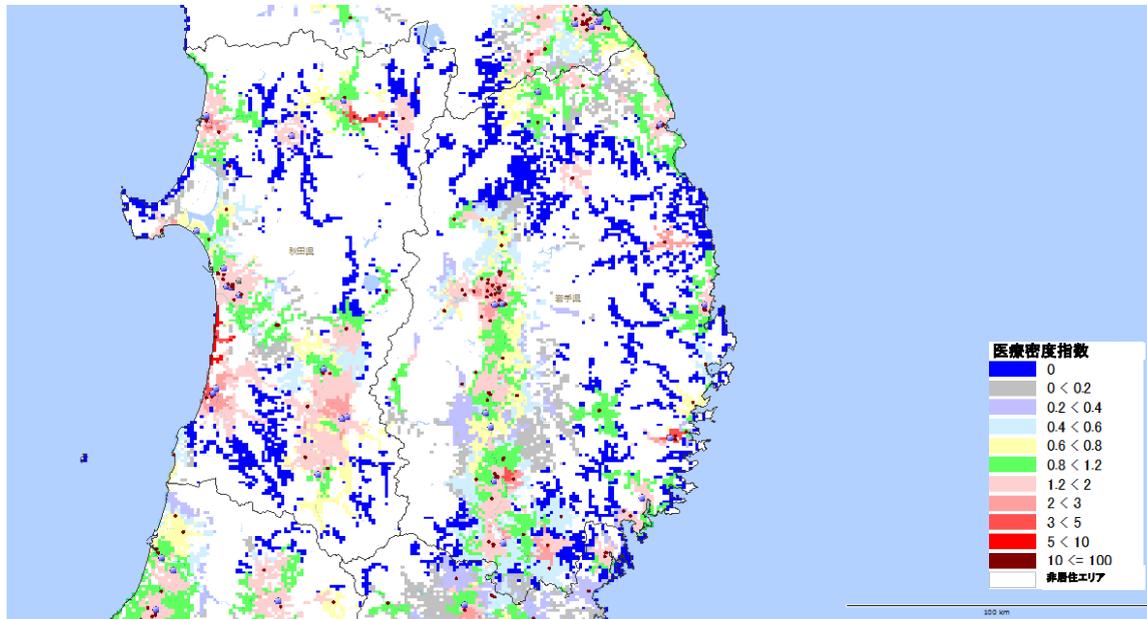
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が2926床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に2310床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、616床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1632床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



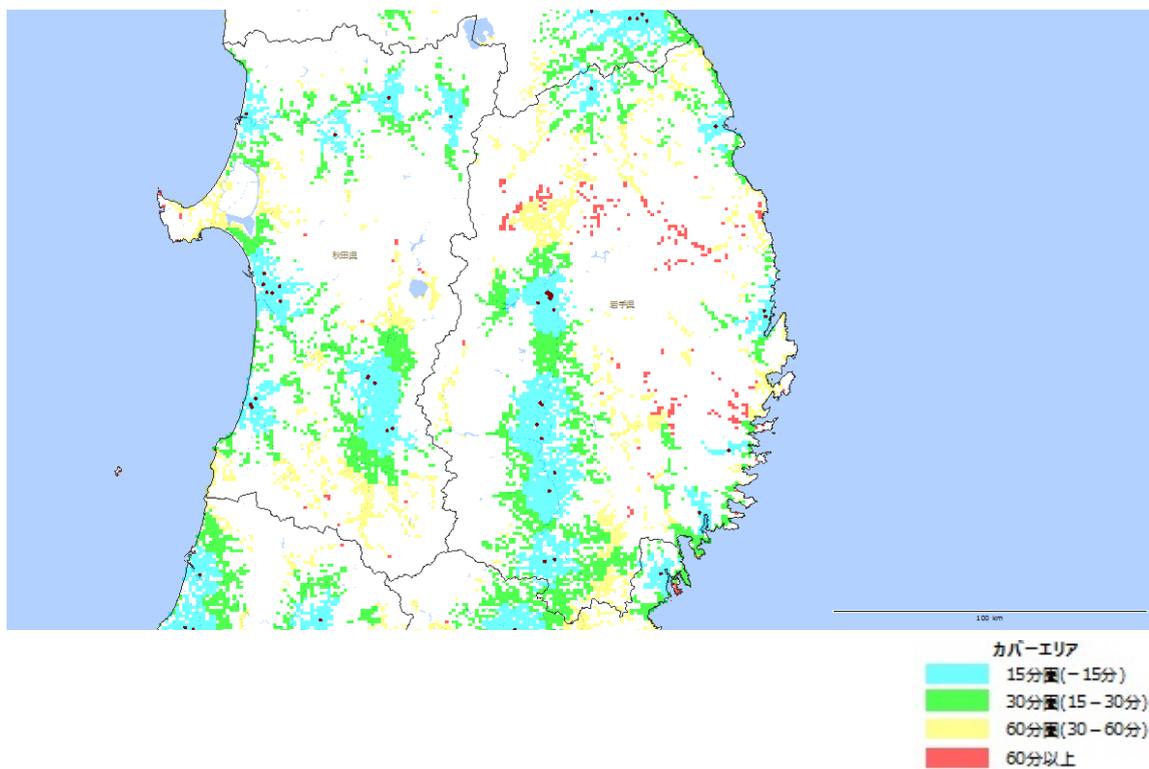
(秋田県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



5.秋田県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 5-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
秋田県	1,023	38位	11,616	6位	88.1		34%	893	700	187	205	199	-13%	-22%	10%	-3%
大館・鹿角	112	11%	1,822	16%	61.2	過疎地域型	36%	97	75	23	23	21	-13%	-23%	0%	-9%
北秋田	36	4%	1,409	12%	25.3	過疎地域型	41%	29	20	8	8	7	-19%	-31%	0%	-13%
能代・山本	82	8%	1,191	10%	69.2	過疎地域型	38%	69	51	17	18	16	-16%	-26%	6%	-11%
秋田周辺	401	39%	1,695	15%	236.5	地方都市型	30%	359	291	61	76	79	-10%	-19%	25%	4%
由利本荘・にかほ	105	10%	1,451	12%	72.6	過疎地域型	33%	94	74	19	21	21	-10%	-21%	11%	0%
大仙・仙北	131	13%	2,129	18%	61.3	過疎地域型	36%	111	85	26	27	25	-15%	-23%	4%	-7%
横手	92	9%	693	6%	133.1	過疎地域型	35%	80	63	19	19	18	-13%	-21%	0%	-5%
湯沢・雄勝	65	6%	1,225	11%	52.7	過疎地域型	36%	54	40	13	13	13	-17%	-26%	0%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資\_図表 5-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
秋田県	1.39	0.88	16,436	16,717	-1.7%
大館・鹿角	1.11	1.56	2,216	1,905	14.0%
北秋田	0.70	0.69	699	677	3.2%
能代・山本	1.44	1.29	1,641	1,501	8.5%
秋田周辺	1.58	1.01	5,462	6,195	-13.4%
由利本荘・にかほ	1.85	0.29	1,623	1,714	-5.6%
大仙・仙北	1.13	0.53	2,486	2,169	12.7%
横手	1.36	0.38	1,208	1,517	-25.5%
湯沢・雄勝	0.84	0.68	1,101	1,040	5.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資\_図表 5-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
秋田県	379	58	1.021	153	58	1.085	202	57	0.990	298	63
大館・鹿角	378	58	0.976	159	59	1.073	198	55	0.933	312	67
北秋田	370	56	0.926	149	56	0.975	200	56	0.912	328	71
能代・山本	390	60	1.017	157	59	1.075	207	60	0.987	308	66
秋田周辺	401	63	1.071	160	60	1.121	214	64	1.043	285	59
由利本荘・にかほ	394	61	1.046	173	64	1.197	199	56	0.963	301	64
大仙・仙北	342	50	0.938	129	49	0.921	191	51	0.955	311	67
横手	357	53	0.963	141	54	0.997	192	52	0.948	298	63
湯沢・雄勝	337	49	0.922	141	53	1.003	174	42	0.873	274	56
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資\_図表05-35を参照。

資\_図表 5-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
秋田県	70	0.8%	6.8	50	814	0.8%	80	50
大館・鹿角	10	14%	9.0	56	67	8%	60	40
北秋田	2	3%	5.6	47	32	4%	90	56
能代・山本	7	10%	8.5	54	73	9%	89	55
秋田周辺	27	39%	6.7	50	343	42%	86	53
由利本荘・にかほ	8	11%	7.6	52	81	10%	77	49
大仙・仙北	8	11%	6.1	49	96	12%	74	47
横手	4	6%	4.3	44	81	10%	88	54
湯沢・雄勝	4	6%	6.2	49	41	5%	64	42
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

5.秋田県(2017年版)

資\_図表 5-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
秋田県	814	0.8%	80	50	747	0.8%	73	50	67	0.8%	6.5	50
大館・鹿角	67	8%	60	40	62	8%	56	40	5	7%	4.5	47
北秋田	32	4%	90	56	30	4%	84	56	2	3%	5.6	49
能代・山本	73	9%	89	55	62	8%	75	51	11	16%	13.3	61
秋田周辺	343	42%	86	53	323	43%	81	54	20	30%	5.0	48
由利本荘・にかほ	81	10%	77	49	71	10%	67	47	10	15%	9.5	55
大仙・仙北	96	12%	74	47	87	12%	67	46	9	13%	6.9	51
横手	81	10%	88	54	76	10%	82	55	5	7%	5.4	49
湯沢・雄勝	41	5%	64	42	36	5%	56	41	5	7%	7.7	52
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 5-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
秋田県	15,211	1.0%	1,487	55	887	0.8%	87	50	16,098	1.0%	1,573	55
大館・鹿角	1,815	12%	1,627	58	58	7%	52	47	1,873	12%	1,679	57
北秋田	464	3%	1,303	51	23	3%	65	48	487	3%	1,368	51
能代・山本	1,371	9%	1,662	59	177	20%	215	63	1,548	10%	1,877	60
秋田周辺	6,125	40%	1,528	56	289	33%	72	49	6,414	40%	1,600	55
由利本荘・にかほ	1,855	12%	1,762	61	137	15%	130	54	1,992	12%	1,893	60
大仙・仙北	1,503	10%	1,151	48	96	11%	74	49	1,599	10%	1,224	48
横手	1,327	9%	1,439	54	44	5%	48	46	1,371	9%	1,487	53
湯沢・雄勝	751	5%	1,164	49	63	7%	98	51	814	5%	1,261	49
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 5-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
秋田県	8,918	1.0%	872	57	2,139	0.7%	209	48	4,080	1.2%	399	56
大館・鹿角	967	11%	867	57	511	24%	458	60	327	8%	293	51
北秋田	224	3%	629	47	48	2%	135	44	184	5%	517	62
能代・山本	741	8%	898	59	356	17%	432	58	270	7%	327	53
秋田周辺	3,382	38%	844	56	849	40%	212	48	1,870	46%	466	59
由利本荘・にかほ	1,393	16%	1,324	77	50	2%	48	40	402	10%	382	55
大仙・仙北	801	9%	613	46	203	9%	155	45	495	12%	379	55
横手	905	10%	982	62	50	2%	54	40	362	9%	393	56
湯沢・雄勝	505	6%	782	53	72	3%	112	43	170	4%	263	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 5-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
秋田県	426	0.6%	42	47	1,149	1.9%	112	60
大館・鹿角	91	21%	82	55	114	10%	102	58
北秋田	0	0%	0	38	48	4%	135	64
能代・山本	38	9%	46	48	51	4%	62	51
秋田周辺	193	45%	48	48	254	22%	63	51
由利本荘・にかほ	0	0%	0	38	152	13%	144	65
大仙・仙北	50	12%	38	46	144	13%	110	59
横手	0	0%	0	38	170	15%	184	72
湯沢・雄勝	54	13%	84	55	216	19%	335	99
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

5.秋田県(2017年版)

資\_図表 5-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
秋田県	8,250	7,293	244	6,799	1,612	1,738	81.9%	62	12.3%	51
大館・鹿角	1,059	949	42	592	20	305	97.9%	69	12.1%	51
北秋田	320	224	48	144	0	0	100.0%	70	100.0%	89
能代・山本	640	576	0	695	165	320	77.7%	61	0.0%	46
秋田周辺	2,582	2,462	0	3,561	895	892	73.3%	59	0.0%	46
由利本荘・にかほ	966	946	0	909	457	50	67.4%	56	0.0%	46
大仙・仙北	1,170	741	50	333	60	153	92.5%	67	24.6%	57
横手	965	905	50	362	0	0	100.0%	70	100.0%	89
湯沢・雄勝	548	490	54	203	15	18	97.0%	68	75.0%	79
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 5-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
秋田県	23,256	0.8%	2,273	51	7,020	0.7%	686	46
大館・鹿角	2,028	9%	1,818	46	612	9%	549	41
北秋田	516	2%	1,449	43	24	0%	67	24
能代・山本	2,076	9%	2,517	53	504	7%	611	43
秋田周辺	10,932	47%	2,727	55	2,940	42%	733	47
由利本荘・にかほ	1,932	8%	1,836	46	804	11%	764	49
大仙・仙北	2,112	9%	1,617	44	660	9%	505	39
横手	2,532	11%	2,746	55	1,128	16%	1,223	65
湯沢・雄勝	1,128	5%	1,748	45	348	5%	539	41
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 5-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
秋田県	2,555	0.7%	250	48	1,681	0.8%	164	49	875	0.7%	85	44
大館・鹿角	208	8%	186	40	143	8%	128	44	65	7%	59	36
北秋田	49	2%	139	35	23	1%	63	34	27	3%	76	41
能代・山本	185	7%	224	45	106	6%	128	44	79	9%	96	48
秋田周辺	1,327	52%	331	57	934	56%	233	60	393	45%	98	48
由利本荘・にかほ	238	9%	226	45	156	9%	148	47	82	9%	78	42
大仙・仙北	236	9%	181	40	129	8%	99	39	107	12%	82	43
横手	222	9%	241	46	135	8%	147	47	86	10%	94	47
湯沢・雄勝	90	4%	139	35	56	3%	87	37	34	4%	53	34
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 5-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
秋田県	95	0.6%	9.3	45	99	0.8%	9.7	50	90	0.9%	8.8	52
大館・鹿角	5	5%	4.5	38	6	6%	5.4	40	6	7%	5.4	42
北秋田	0	0%	0	31	2	2%	5.6	41	1	1%	2.8	35
能代・山本	2	2%	2.4	35	5	5%	6.1	42	7	8%	8.5	51
秋田周辺	59	62%	14.7	54	65	66%	16.2	64	50	56%	12.5	62
由利本荘・にかほ	12	13%	11.4	49	8	8%	7.6	45	11	12%	10.5	56
大仙・仙北	10	11%	7.7	43	5	5%	3.8	37	7	8%	5.4	42
横手	5	5%	5.4	39	6	6%	6.5	43	6	7%	6.5	45
湯沢・雄勝	2	2%	3.1	36	2	2%	3.1	35	2	2%	3.1	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 5-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
秋田県	36	0.7%	3.5	47	66	0.7%	6.5	47	51	0.7%	5.0	47
大館・鹿角	1	3%	0.9	34	5	8%	4.5	41	6	12%	5.4	48
北秋田	0	0%	0	30	1	2%	2.8	35	2	4%	5.6	49
能代・山本	1	3%	1.2	36	3	5%	3.6	38	4	8%	4.8	46
秋田周辺	27	75%	6.7	62	41	62%	10.2	59	24	47%	6.0	50
由利本荘・にかほ	3	8%	2.9	44	2	3%	1.9	32	3	6%	2.9	38
大仙・仙北	2	6%	1.5	37	5	8%	3.8	39	5	10%	3.8	42
横手	2	6%	2.2	40	7	11%	7.6	51	6	12%	6.5	52
湯沢・雄勝	0	0%	0	30	2	3%	3.1	36	1	2%	1.5	33
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 5-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
秋田県	77	0.9%	7.5	53	159	0.8%	15.5	49	119	0.8%	11.6	49
大館・鹿角	2	3%	1.8	36	8	5%	7.2	37	12	10%	10.8	47
北秋田	0	0%	0	31	5	3%	14.0	47	3	3%	8.4	42
能代・山本	12	16%	14.5	73	13	8%	15.8	50	11	9%	13.3	53
秋田周辺	46	60%	11.5	64	85	53%	21.2	58	57	48%	14.2	55
由利本荘・にかほ	1	1%	1.0	34	16	10%	15.2	49	12	10%	11.4	48
大仙・仙北	11	14%	8.4	55	7	4%	5.4	34	7	6%	5.4	35
横手	5	6%	5.4	47	18	11%	19.5	55	10	8%	10.8	47
湯沢・雄勝	0	0%	0	31	7	4%	10.8	42	7	6%	10.8	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 5-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
秋田県	57	1.0%	5.6	55	63	1.0%	6.2	55	25	0.5%	2.4	44
大館・鹿角	2	4%	1.8	37	8	13%	7.2	59	0	0%	0	36
北秋田	1	2%	2.8	42	0	0%	0	28	0	0%	0	36
能代・山本	6	11%	7.3	64	2	3%	2.4	39	2	8%	2.4	44
秋田周辺	31	54%	7.7	66	36	57%	9.0	67	17	68%	4.2	50
由利本荘・にかほ	4	7%	3.8	47	5	8%	4.8	49	3	12%	2.9	45
大仙・仙北	5	9%	3.8	47	6	10%	4.6	48	1	4%	0.8	38
横手	6	11%	6.5	60	4	6%	4.3	47	2	8%	2.2	43
湯沢・雄勝	2	4%	3.1	43	2	3%	3.1	42	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 5-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
秋田県	33	0.5%	3.2	44	14	0.9%	1.4	52	11	0.3%	1.1	41
大館・鹿角	1	3%	0.9	36	0	0%	0	37	3	27%	2.7	51
北秋田	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
能代・山本	1	3%	1.2	37	1	7%	1.2	50	0	0%	0	35
秋田周辺	24	73%	6.0	53	7	50%	1.7	56	7	64%	1.7	45
由利本荘・にかほ	3	9%	2.9	42	2	14%	1.9	58	0	0%	0	35
大仙・仙北	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
横手	2	6%	2.2	40	3	21%	3.3	73	0	0%	0	35
湯沢・雄勝	2	6%	3.1	43	1	7%	1.5	54	1	9%	1.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

5.秋田県(2017年版)

資\_図表 5-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
秋田県	9	0.5%	0.9	44	14	0.6%	1.4	46
大館・鹿角	1	11%	0.9	44	1	7%	0.9	43
北秋田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
能代・山本	0	0%	0	37	0	0%	0	36
秋田周辺	6	67%	1.5	49	8	57%	2.0	51
由利本荘・にかほ	0	0%	0	37	1	7%	1.0	43
大仙・仙北	1	11%	0.8	43	3	21%	2.3	53
横手	1	11%	1.1	46	1	7%	1.1	44
湯沢・雄勝	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 5-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
秋田県	10,351	0.9%	1,012	55	8,608	0.9%	841	55	1,744	0.9%	170	52
大館・鹿角	1,082	10%	970	53	938	11%	841	55	144	8%	129	46
北秋田	226	2%	635	42	164	2%	459	39	63	4%	176	53
能代・山本	884	9%	1,071	57	683	8%	828	54	201	12%	244	62
秋田周辺	4,547	44%	1,134	59	3,762	44%	938	59	785	45%	196	56
由利本荘・にかほ	1,133	11%	1,077	57	1,030	12%	979	61	103	6%	98	42
大仙・仙北	1,086	10%	831	48	882	10%	675	48	204	12%	156	50
横手	960	9%	1,041	56	818	9%	887	57	142	8%	154	50
湯沢・雄勝	434	4%	672	43	332	4%	515	41	102	6%	158	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 5-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
秋田県	798	0.6%	78	46	1,961	0.7%	192	46
大館・鹿角	97	12%	87	48	200	10%	179	45
北秋田	9	1%	25	36	47	2%	132	40
能代・山本	64	8%	78	46	142	7%	172	44
秋田周辺	356	45%	89	48	924	47%	230	50
由利本荘・にかほ	71	9%	67	44	188	10%	179	45
大仙・仙北	119	15%	91	48	211	11%	162	43
横手	53	7%	57	42	172	9%	187	46
湯沢・雄勝	30	4%	46	40	77	4%	119	38
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 5-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
秋田県	65	0.5%	0.3	39	8	0.7%	0.0	45	69	0.7%	0.4	36
大館・鹿角	5	8%	0.2	36	1	13%	0.0	45	7	10%	0.3	33
北秋田	1	2%	0.1	34	0	0%	0	38	4	6%	0.5	41
能代・山本	4	6%	0.2	36	0	0%	0	38	6	9%	0.3	35
秋田周辺	31	48%	0.5	43	6	75%	0.1	54	28	41%	0.5	41
由利本荘・にかほ	5	8%	0.3	37	0	0%	0	38	4	6%	0.2	28
大仙・仙北	8	12%	0.3	38	0	0%	0	38	9	13%	0.3	35
横手	10	15%	0.5	43	1	13%	0.1	47	8	12%	0.4	39
湯沢・雄勝	1	2%	0.1	33	0	0%	0	38	3	4%	0.2	29
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 5-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
秋田県	18,125	1.1%	97	46	12,139	1.2%	65	53	5,986	0.9%	32	43
大館・鹿角	2,382	13%	106	51	1,710	14%	76	62	672	11%	30	42
北秋田	699	4%	82	37	583	5%	69	56	116	2%	14	32
能代・山本	1,899	10%	109	53	1,081	9%	62	50	818	14%	47	53
秋田周辺	6,174	34%	101	48	3,916	32%	64	52	2,258	38%	37	47
由利本荘・にかほ	1,731	10%	90	42	1,413	12%	73	60	318	5%	16	34
大仙・仙北	2,673	15%	101	48	1,687	14%	64	52	986	16%	37	47
横手	1,372	8%	74	32	833	7%	45	37	539	9%	29	42
湯沢・雄勝	1,195	7%	89	42	916	8%	69	56	279	5%	21	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 5-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
秋田県	5,193	1.4%	28	59	6,509	1.2%	35	50	437	0.7%	2.3	46
大館・鹿角	612	12%	27	58	800	12%	36	51	298	68%	13.2	72
北秋田	180	3%	21	48	403	6%	48	63	0	0%	0	40
能代・山本	375	7%	22	48	577	9%	33	48	129	30%	7.4	58
秋田周辺	2,008	39%	33	68	1,908	29%	31	46	0	0%	0	40
由利本荘・にかほ	500	10%	26	56	913	14%	47	63	0	0%	0	40
大仙・仙北	674	13%	25	55	1,013	16%	38	53	0	0%	0	40
横手	450	9%	24	53	383	6%	21	35	0	0%	0	40
湯沢・雄勝	394	8%	30	62	512	8%	38	53	10	2%	0.7	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 5-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
秋田県	843	0.4%	4.5	41	359	1.6%	1.9	52	2,506	1.3%	13.4	52
大館・鹿角	59	7%	2.6	39	114	32%	5.1	67	333	13%	14.8	55
北秋田	0	0%	0	37	0	0%	0	43	116	5%	13.7	53
能代・山本	57	7%	3.3	40	15	4%	0.9	47	458	18%	26.3	75
秋田周辺	444	53%	7.3	44	120	33%	2.0	53	549	22%	9.0	45
由利本荘・にかほ	0	0%	0	37	30	8%	1.6	51	180	7%	9.3	45
大仙・仙北	219	26%	8.3	44	30	8%	1.1	49	483	19%	18.2	61
横手	44	5%	2.4	39	50	14%	2.7	56	252	10%	13.6	53
湯沢・雄勝	20	2%	1.5	38	0	0%	0	43	135	5%	10.1	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 5-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
秋田県	2,278	1.0%	12.2	47	589	3.8%	3.1	63	1,689	0.8%	9.0	43
大館・鹿角	166	7%	7.4	40	0	0%	0	44	166	10%	7.4	41
北秋田	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
能代・山本	288	13%	16.5	53	30	5%	1.7	55	258	15%	14.8	52
秋田周辺	1,145	50%	18.7	56	433	74%	7.1	87	712	42%	11.7	47
由利本荘・にかほ	108	5%	5.6	38	0	0%	0	44	108	6%	5.6	38
大仙・仙北	254	11%	9.6	43	67	11%	2.5	59	187	11%	7.1	40
横手	193	8%	10.4	44	29	5%	1.6	54	164	10%	8.9	43
湯沢・雄勝	124	5%	9.3	43	30	5%	2.2	58	94	6%	7.0	40
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 5-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
秋田県	1,543	0.9%	8.2	41	1,281	1.1%	6.8	47	261	0.6%	1.4	35
大館・鹿角	245	16%	10.9	53	220	17%	9.8	62	25	9%	1.1	32
北秋田	63	4%	7.4	38	47	4%	5.5	41	16	6%	1.9	40
能代・山本	131	8%	7.5	38	109	8%	6.2	44	22	8%	1.3	33
秋田周辺	528	34%	8.6	43	416	32%	6.8	47	112	43%	1.8	39
由利本荘・にかほ	136	9%	7.0	36	122	10%	6.3	45	14	5%	0.7	28
大仙・仙北	188	12%	7.1	36	159	12%	6.0	43	29	11%	1.1	32
横手	142	9%	7.7	39	109	9%	5.9	43	33	13%	1.8	39
湯沢・雄勝	110	7%	8.2	41	100	8%	7.5	50	11	4%	0.8	28
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 5-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
秋田県	19,294	1.3%	103	60	17,205	1.4%	92	63	2,089	0.9%	11.2	45
大館・鹿角	2,251	12%	100	58	2,033	12%	90	62	218	10%	9.7	42
北秋田	785	4%	93	52	685	4%	81	54	100	5%	11.7	46
能代・山本	1,905	10%	109	65	1,691	10%	97	68	215	10%	12.3	47
秋田周辺	6,591	34%	108	64	5,795	34%	95	66	796	38%	13.0	48
由利本荘・にかほ	1,958	10%	102	59	1,783	10%	92	64	175	8%	9.1	41
大仙・仙北	2,780	14%	105	62	2,511	15%	95	66	269	13%	10.2	43
横手	1,864	10%	101	58	1,638	10%	89	60	225	11%	12.2	47
湯沢・雄勝	1,161	6%	87	47	1,069	6%	80	53	92	4%	6.9	38
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 5-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
秋田県	5,667	0.5%	30	38	2,152	0.5%	11	36	13,218	0.9%	71	43
大館・鹿角	202	4%	9	32	174	8%	8	33	1,537	12%	68	43
北秋田	63	1%	7	31	162	8%	19	43	609	5%	72	44
能代・山本	816	14%	47	44	232	11%	13	38	1,285	10%	74	44
秋田周辺	2,537	45%	42	42	996	46%	16	40	5,288	40%	87	48
由利本荘・にかほ	468	8%	24	37	124	6%	6	32	1,066	8%	55	39
大仙・仙北	658	12%	25	37	148	7%	6	31	1,572	12%	59	40
横手	660	12%	36	40	198	9%	11	36	1,284	10%	69	43
湯沢・雄勝	263	5%	20	35	118	5%	9	34	577	4%	43	35
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 5-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
秋田県		1,145,501	1,023,119	-11%	893,224	-22%	1%	-3%	-2%
大館・鹿角	過疎地域型	126,081	111,552	-12%	96,716	-23%	1%	-7%	-6%
北秋田	過疎地域型	43,156	35,605	-17%	28,555	-34%	-5%	-12%	-16%
能代・山本	過疎地域型	96,656	82,476	-15%	69,428	-28%	-2%	-7%	-8%
秋田周辺	地方都市型	432,434	400,911	-7%	359,151	-17%	6%	2%	8%
由利本荘・にかほ	過疎地域型	118,527	105,251	-11%	93,758	-21%	0%	-2%	-2%
大仙・仙北	過疎地域型	148,258	130,585	-12%	111,415	-25%	-1%	-7%	-8%
横手	過疎地域型	103,652	92,197	-11%	80,422	-22%	-1%	-5%	-6%
湯沢・雄勝	過疎地域型	76,737	64,542	-16%	53,779	-30%	-6%	-9%	-14%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

5.秋田県(2017年版)

資\_図表 5-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
秋田県	79	6.9	49	72	7.0	51	-7	-9%	65
大館・鹿角	11	8.7	54	10	9.0	56	-1	-9%	9
北秋田	4	9.3	56	2	5.6	47	-2	-50%	0
能代・山本	8	8.3	53	7	8.5	54	-1	-13%	6
秋田周辺	30	6.9	50	28	7.0	51	-2	-7%	26
由利本荘・にかほ	9	7.6	51	8	7.6	52	-1	-11%	7
大仙・仙北	8	5.4	46	8	6.1	49	0	0%	8
横手	4	3.9	42	4	4.3	44	0	0%	4
湯沢・雄勝	5	6.5	48	5	7.7	53	0	0%	5
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 5-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
秋田県	813	71	48	822	80	51	9	1%	832
大館・鹿角	66	52	38	67	60	40	1	2%	68
北秋田	38	88	56	33	93	57	-5	-13%	28
能代・山本	81	84	54	73	89	55	-8	-10%	64
秋田周辺	326	75	50	348	87	54	22	7%	372
由利本荘・にかほ	77	65	45	81	77	49	4	5%	85
大仙・仙北	100	67	46	98	75	48	-2	-2%	96
横手	85	82	53	81	88	55	-4	-5%	77
湯沢・雄勝	40	52	38	41	64	42	1	3%	42
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 5-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
秋田県	2,239	195	48	2,355	230	48	116	5%	2,483
大館・鹿角	190	151	43	165	148	40	-25	-13%	138
北秋田	56	130	40	40	112	36	-16	-29%	22
能代・山本	151	156	43	150	182	43	-1	-1%	149
秋田周辺	1,180	273	57	1,310	327	59	130	11%	1,453
由利本荘・にかほ	203	171	45	204	194	45	1	0%	205
大仙・仙北	195	132	40	207	159	41	12	6%	220
横手	179	173	45	194	210	46	15	8%	211
湯沢・雄勝	85	111	38	85	132	38	0	0%	85
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 5-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
秋田県	19,245	168	55	16,368	160	55	-2,877	-15%	13,203
大館・鹿角	2,289	182	57	1,873	168	56	-416	-18%	1,415
北秋田	763	177	56	487	137	51	-276	-36%	183
能代・山本	1,980	205	61	1,557	189	60	-423	-21%	1,092
秋田周辺	7,232	167	55	6,539	163	55	-693	-10%	5,777
由利本荘・にかほ	2,241	189	58	2,012	191	60	-229	-10%	1,760
大仙・仙北	2,141	144	50	1,611	123	48	-530	-25%	1,028
横手	1,570	151	52	1,374	149	53	-196	-12%	1,158
湯沢・雄勝	1,029	134	49	915	142	52	-114	-11%	790
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 5-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
秋田県	11,690	102	57	9,904	97	57	-1,786	-15%	7,939	89
大館・鹿角	1,288	102	57	1,022	92	55	-266	-21%	729	75
北秋田	494	114	61	247	69	47	-247	-50%	-25	-9
能代・山本	1,231	127	65	926	112	63	-305	-25%	591	85
秋田周辺	4,125	95	54	3,753	94	56	-372	-9%	3,344	93
由利本荘・にかほ	1,521	128	66	1,550	147	75	29	2%	1,582	169
大仙・仙北	1,340	90	52	891	68	46	-449	-34%	397	36
横手	1,058	102	57	952	103	59	-106	-10%	835	104
湯沢・雄勝	633	82	50	563	87	53	-70	-11%	486	90
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 5-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
秋田県	2,926	20	43	2,310	12	43	-616	-21%	1,632	8
大館・鹿角	554	32	50	514	23	51	-40	-7%	470	20
北秋田	60	8	36	48	6	37	-12	-20%	35	4
能代・山本	405	29	48	357	20	50	-48	-12%	304	16
秋田周辺	1,169	26	46	892	15	45	-277	-24%	587	8
由利本荘・にかほ	224	14	40	50	3	34	-174	-78%	-141	-7
大仙・仙北	247	11	38	221	8	39	-26	-11%	192	7
横手	66	4	34	50	3	34	-16	-24%	32	2
湯沢・雄勝	201	17	41	178	13	43	-23	-11%	153	12
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

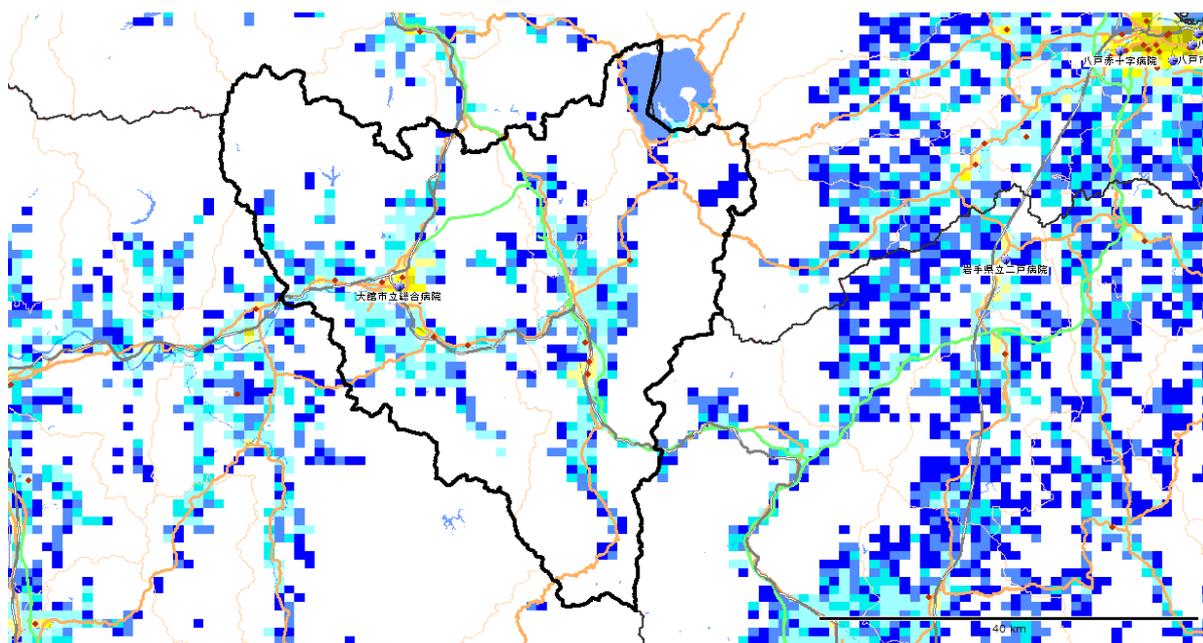
資\_図表 5-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
秋田県	804	40	0.858	373	41	0.805	407	42	0.922
大館・鹿角	699	31	0.743	309	35	0.665	371	33	0.837
北秋田	654	27	0.690	272	31	0.578	362	31	0.814
能代・山本	808	40	0.856	378	42	0.808	406	42	0.915
秋田周辺	917	49	0.977	442	48	0.954	445	51	1.005
由利本荘・にかほ	845	43	0.895	427	47	0.913	398	40	0.898
大仙・仙北	755	36	0.805	330	37	0.710	404	41	0.916
横手	746	35	0.795	325	36	0.696	399	40	0.910
湯沢・雄勝	684	30	0.730	306	35	0.656	358	30	0.817
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 5-1. おおだて かつの 大館・鹿角医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [大館市](#) [鹿角市](#) [小坂町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大館・鹿角医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 大館・鹿角(大館市)は、総人口約112千人(2015年)、面積1822km<sup>2</sup>、人口密度は61人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 大館・鹿角の総人口は2025年に97千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に75千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて23千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には21千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 大館・鹿角の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は312千円(偏差値67)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 大館・鹿角の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.11、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.56で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数44、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。大館・鹿角には、年間全身麻酔件数が500例以上の大館市立総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 大館・鹿角の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2382人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1710床(偏差値62)、高齢者住宅等が672床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2033人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム39、軽費ホーム67、グループホーム55、サ高住40である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、218人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(大館・鹿角医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大館・鹿角医療圏の総人口は、2005年126081人が、2015年に111552人と12%減少し、2025年の人口が96716人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

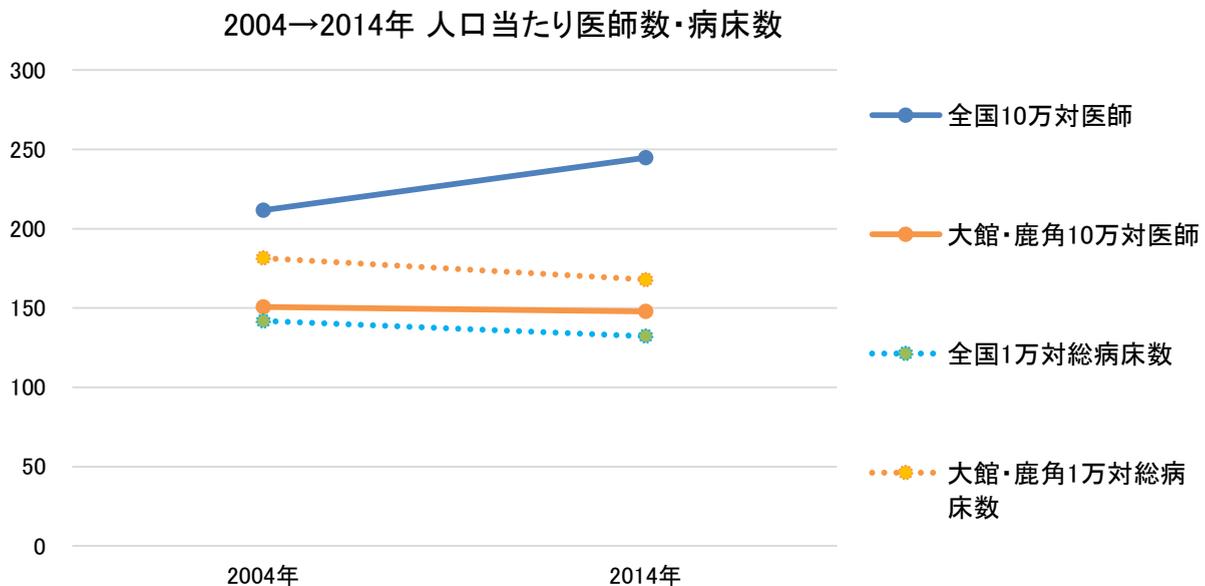
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に10(人口10万人当たり9病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に67(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、1診療所が増加した。

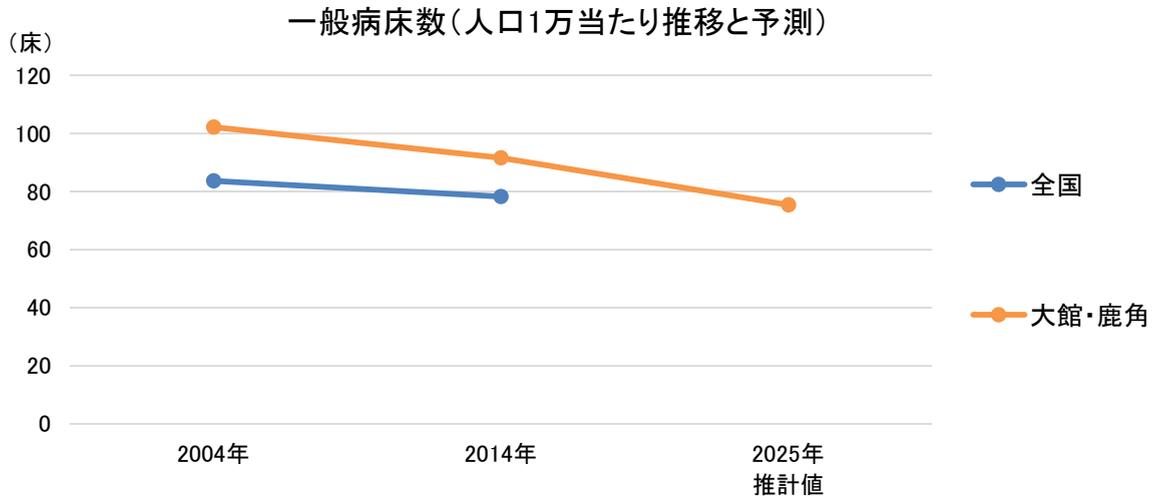
2004年の総病床数が2289床(人口1万人当たり182(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1873床(人口1万人当たり168(全国平均132)偏差値56)と、416床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が190人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、25人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



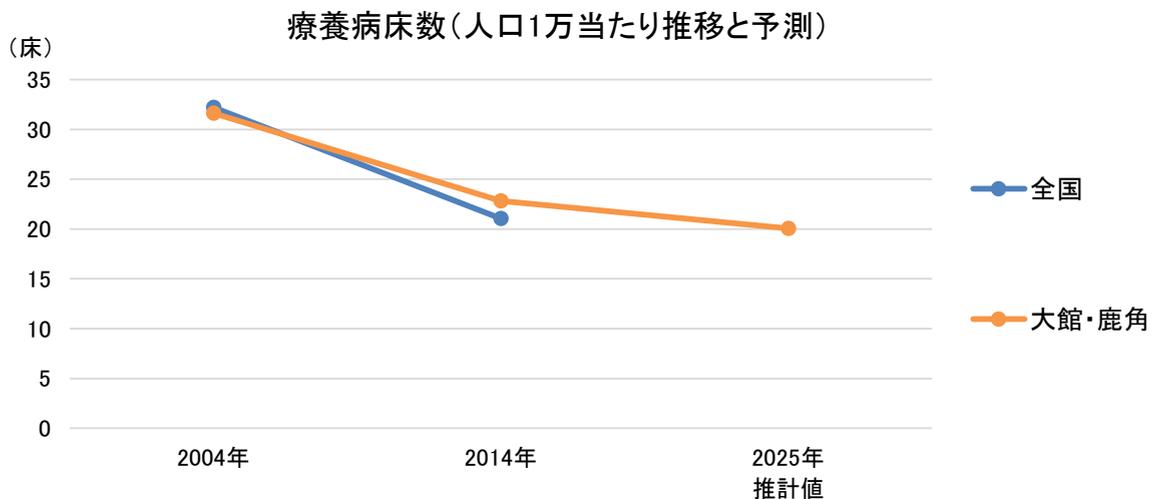
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1288床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1022床(人口1万人当たり92(全国平均78)偏差値55)と、266床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には729床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



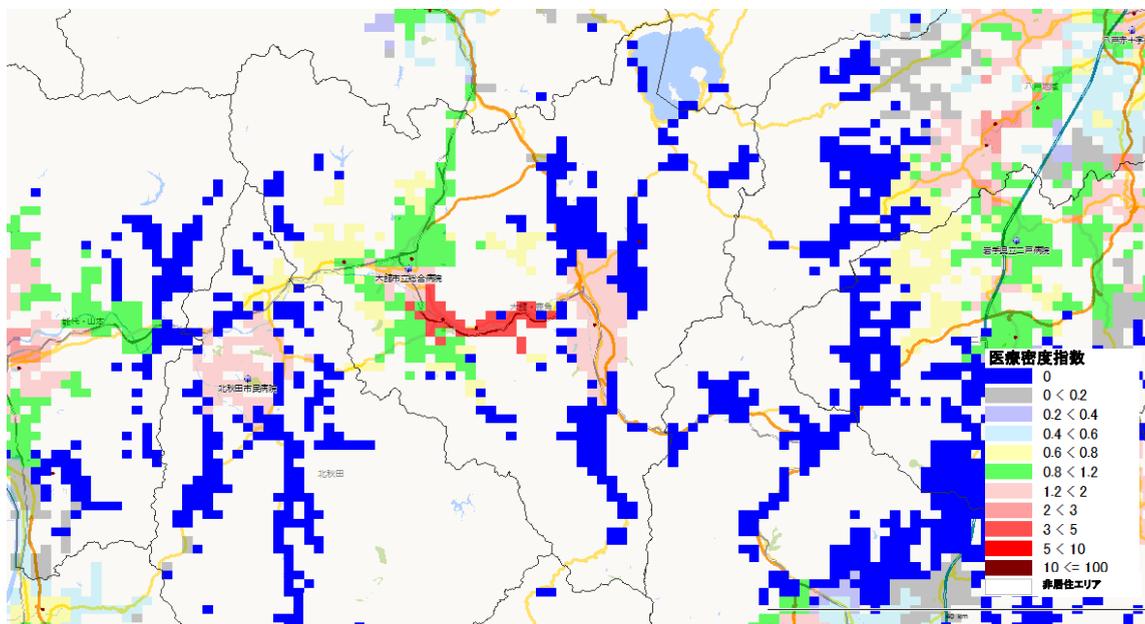
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が554床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に514床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値51)と、40床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には470床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



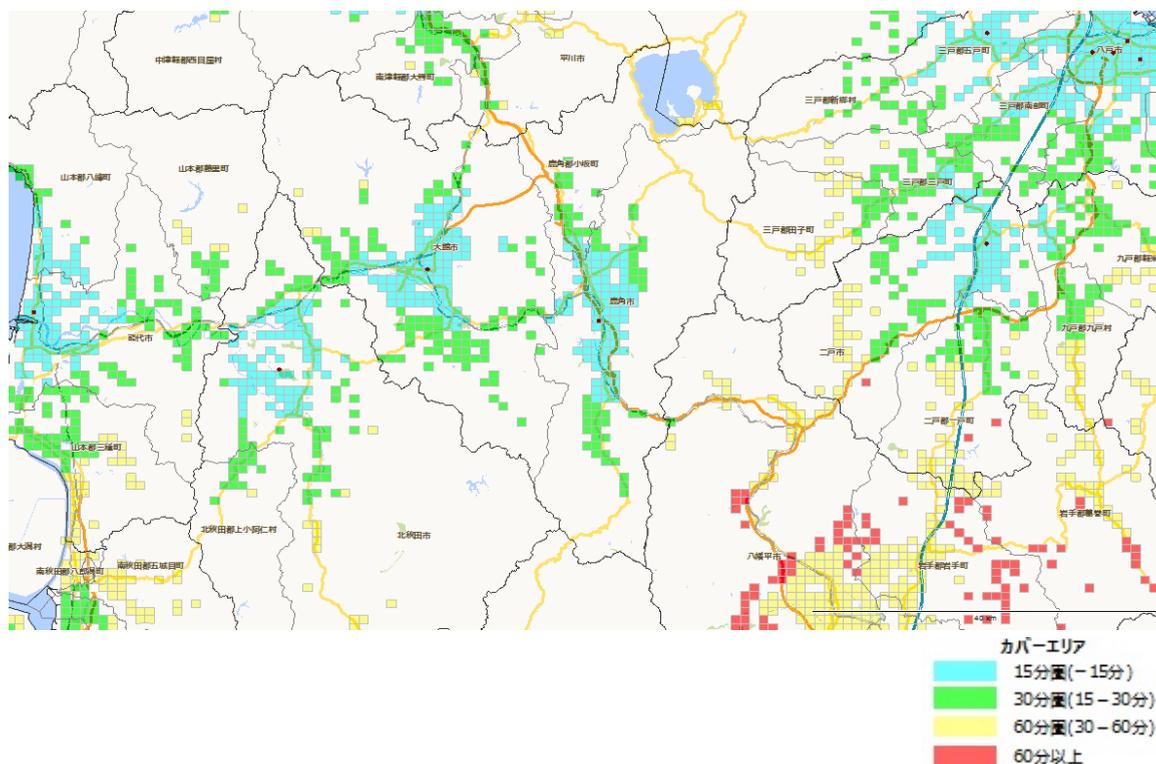
(大館・鹿角医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

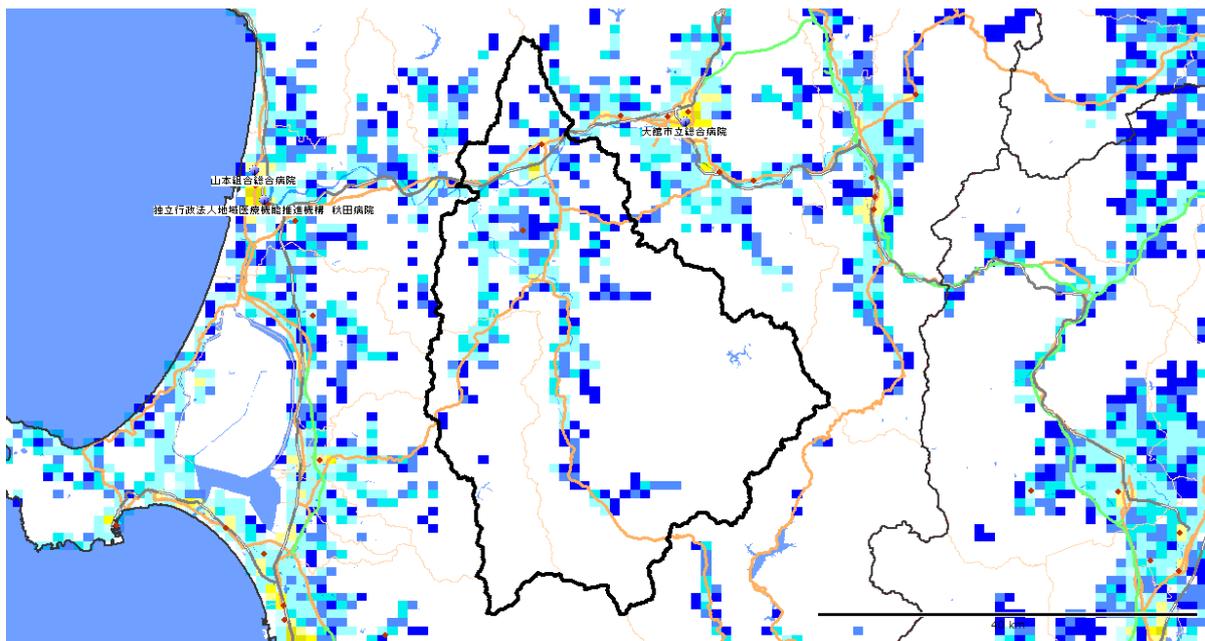
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 5-2. きたあきた 北秋田医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [北秋田市](#) [上小阿仁村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (北秋田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北秋田(北秋田市)は、総人口約36千人(2015年)、面積1409km<sup>2</sup>、人口密度は25人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北秋田の総人口は2025年に29千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に20千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北秋田の一人当たり医療費(国保)は370千円(偏差値56)、介護給付費は328千円(偏差値71)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北秋田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が35(病院医師数34、診療所医師数41)と、総医師数、診療所医師数は少なく、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。北秋田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北秋田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、699人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が583床(偏差値56)、高齢者住宅等が116床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、685人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住なし(偏差値30)である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、100人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (北秋田医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北秋田医療圏の総人口は、2005年43156人が、2015年に35605人と17%減少し、2025年の人口が28555人と予測され、2005年→2025年の間に34%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて12%程度の減少が予測される。

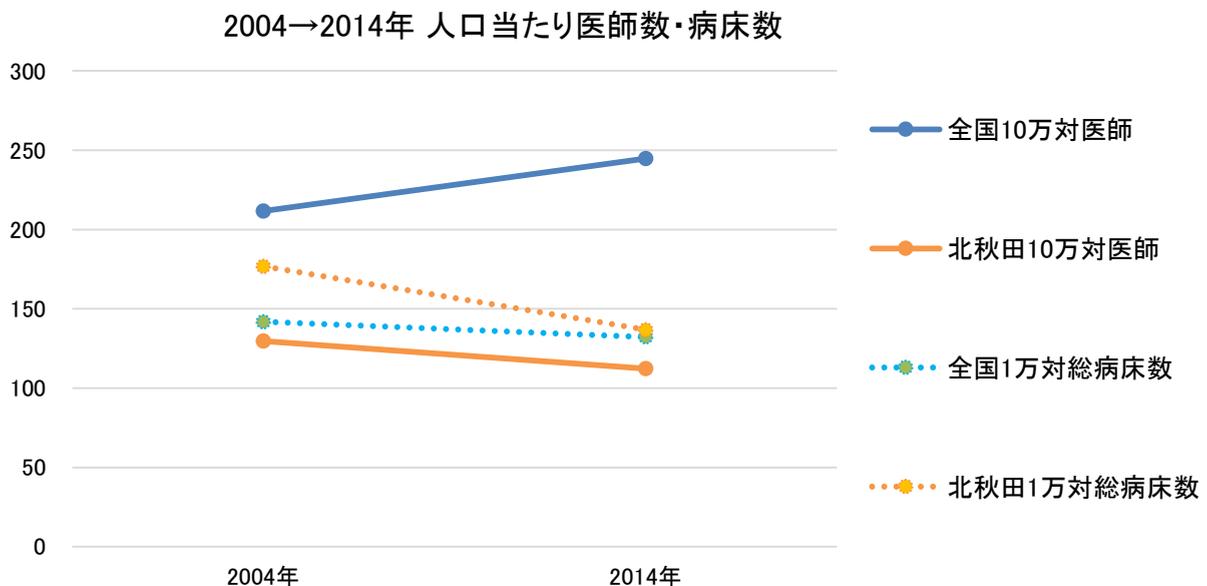
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に2(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に33(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、5診療所が減少した。

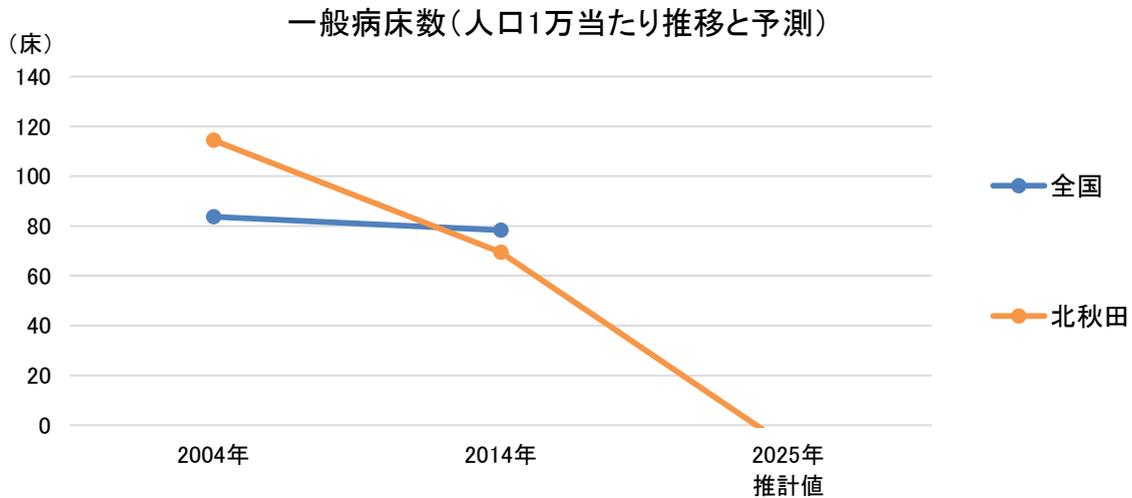
2004年の総病床数が763床(人口1万人当たり177(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に487床(人口1万人当たり137(全国平均132)偏差値51)と、276床の減少、率にして36%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が56人(人口10万人当たり130人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に40人(人口10万人当たり112人(全国平均245人)偏差値36)と、16人の減少、率にして29%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



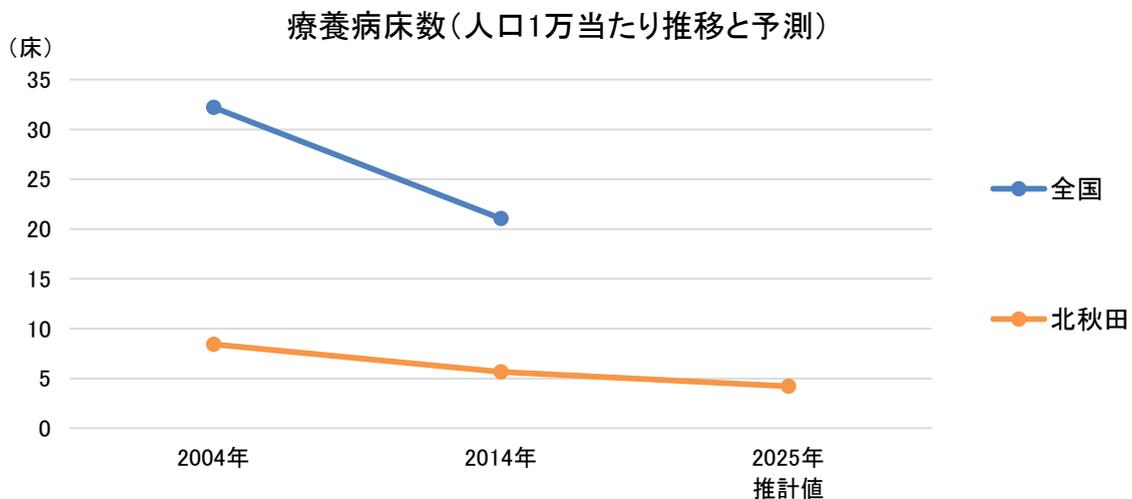
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が494床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に247床(人口1万人当たり69(全国平均78)偏差値47)と、247床の減少、率にして50%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-25床(2025年の推計人口1万人当たり-9)になることが予想される。



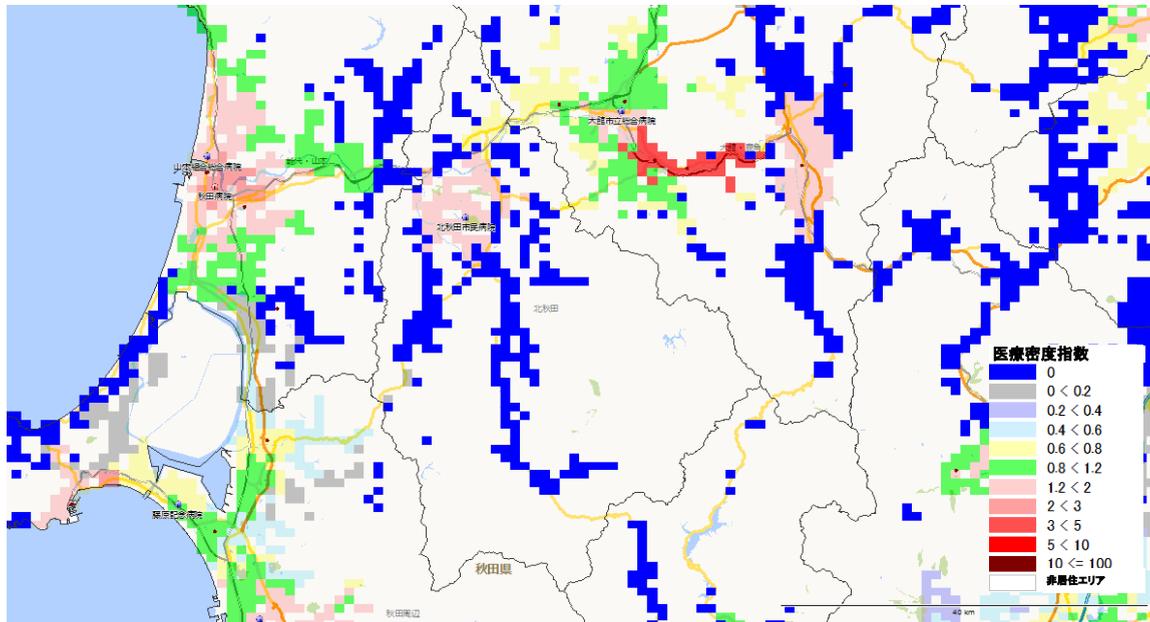
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が60床(75歳以上1000人当たり8(全国平均32)偏差値36)であったが、2014年に48床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、12床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には35床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。



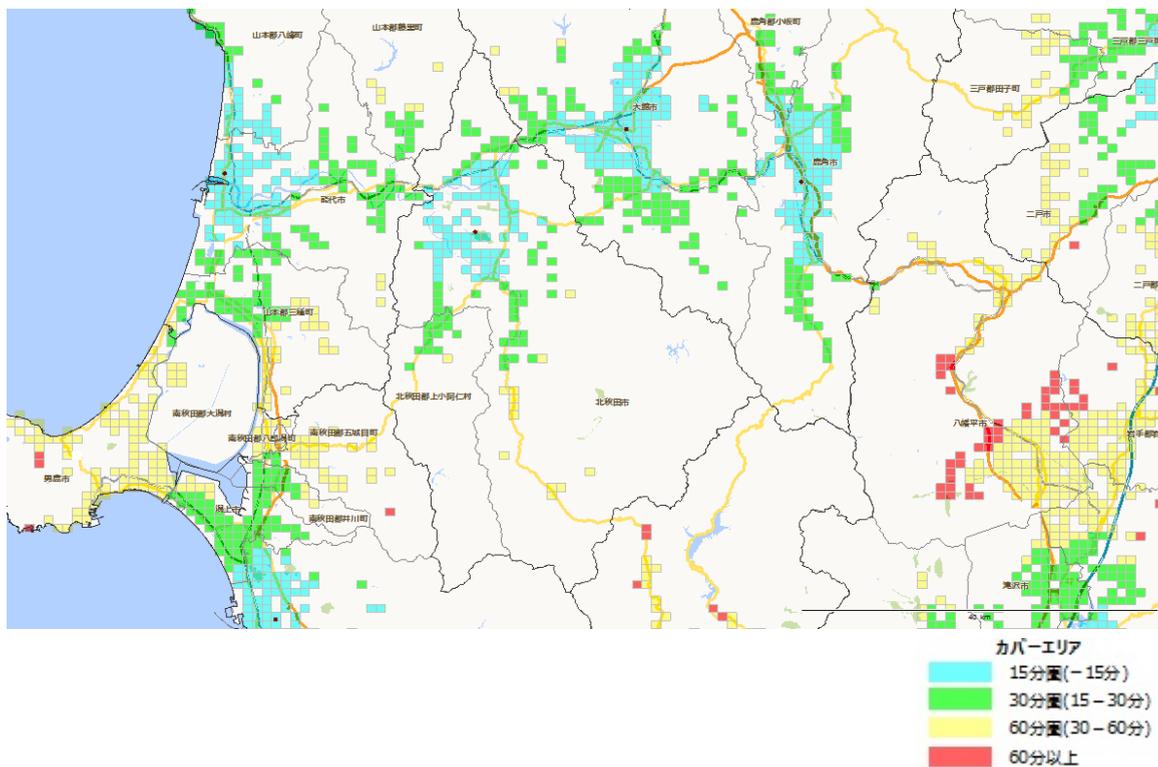
(北秋田医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

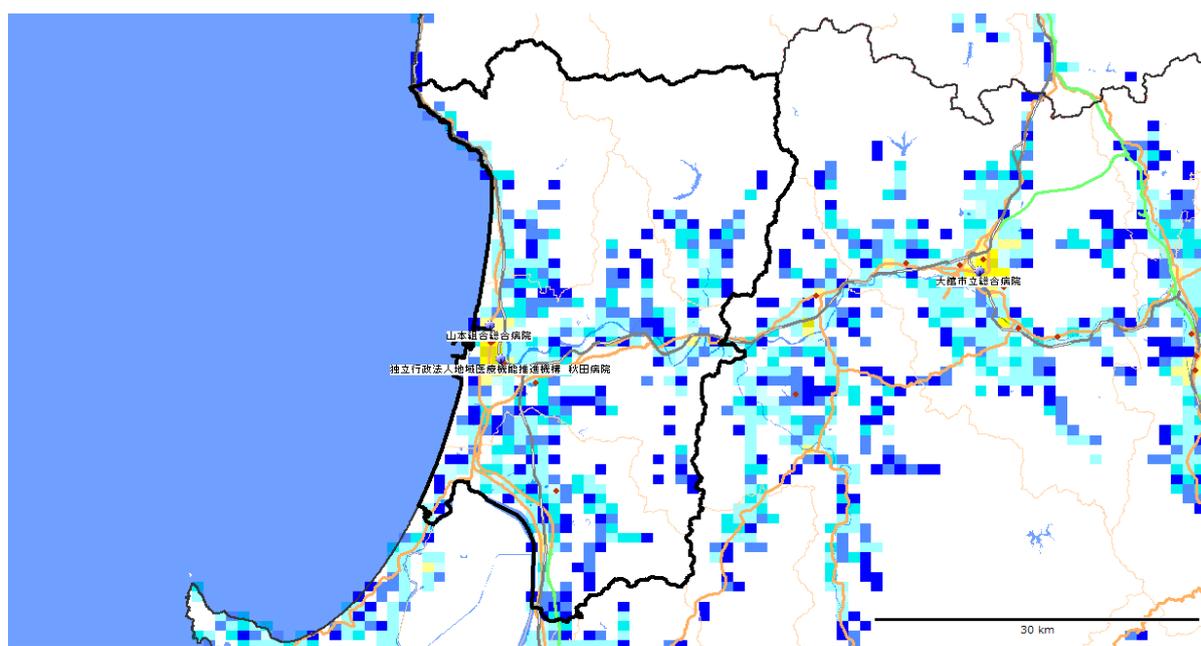
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



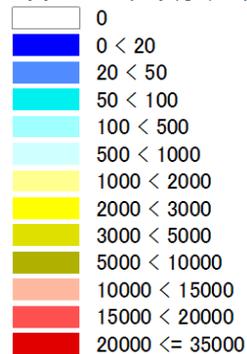
# 5-3. のしろ やまもと 能代・山本医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [能代市](#) [藤里町](#) [三種町](#) [八峰町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (能代・山本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 能代・山本(能代市)は、総人口約82千人(2015年)、面積1191km<sup>2</sup>、人口密度は69人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 能代・山本の総人口は2025年に69千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 能代・山本の一人当たり医療費(国保)は390千円(偏差値60)、介護給付費は308千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 能代・山本の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.44、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.29で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。能代・山本には、年間全身麻酔件数が500例以上の能代厚生医療センター(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 能代・山本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1899人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1081床(偏差値50)、高齢者住宅等が818床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1691人(75歳以上1000人当たりの偏差値68)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム75、サ高住53である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、215人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(能代・山本医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

能代・山本医療圏の総人口は、2005年96656人が、2015年に82476人と15%減少し、2025年の人口が69428人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

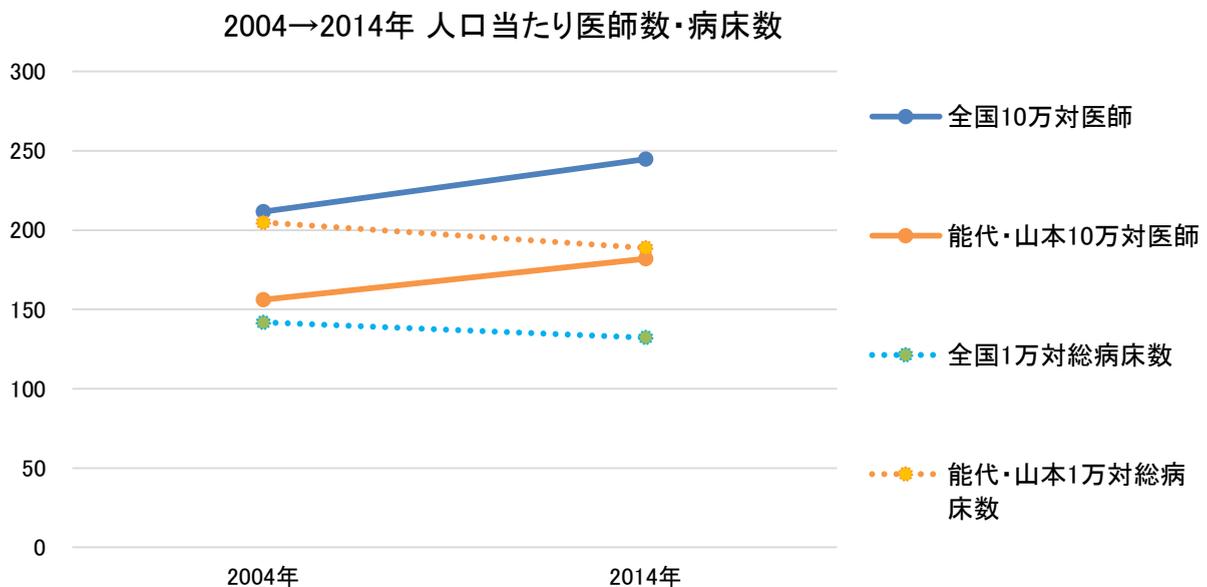
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり8.3病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に7(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が81(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に73(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、8診療所が減少した。

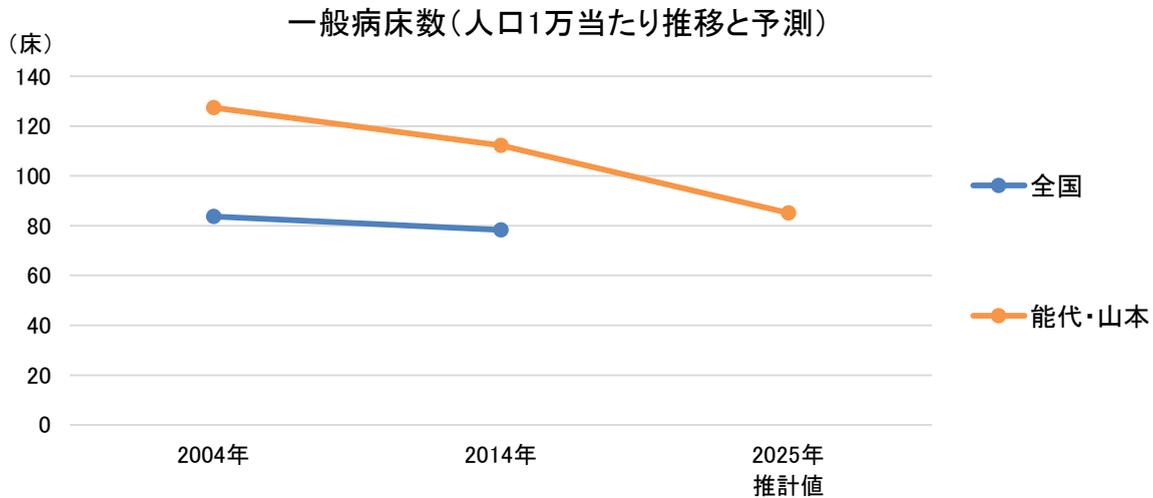
2004年の総病床数が1980床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1557床(人口1万人当たり189(全国平均132)偏差値60)と、423床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が151人(人口10万人当たり156人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に150人(人口10万人当たり182人(全国平均245人)偏差値43)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



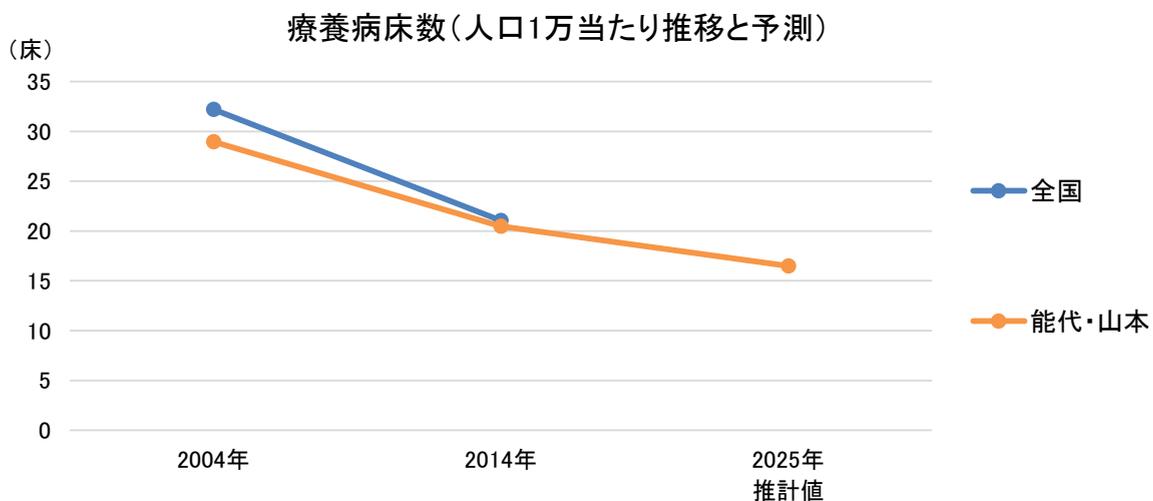
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1231床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に926床(人口1万人当たり112(全国平均78)偏差値63)と、305床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には591床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



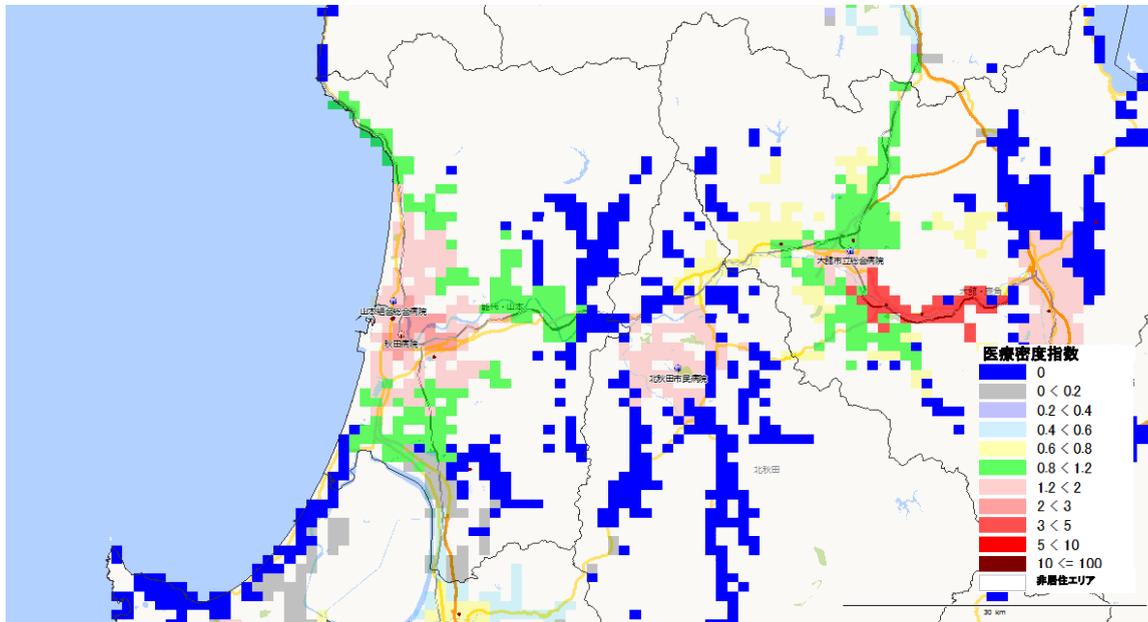
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に357床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値50)と、48床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には304床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



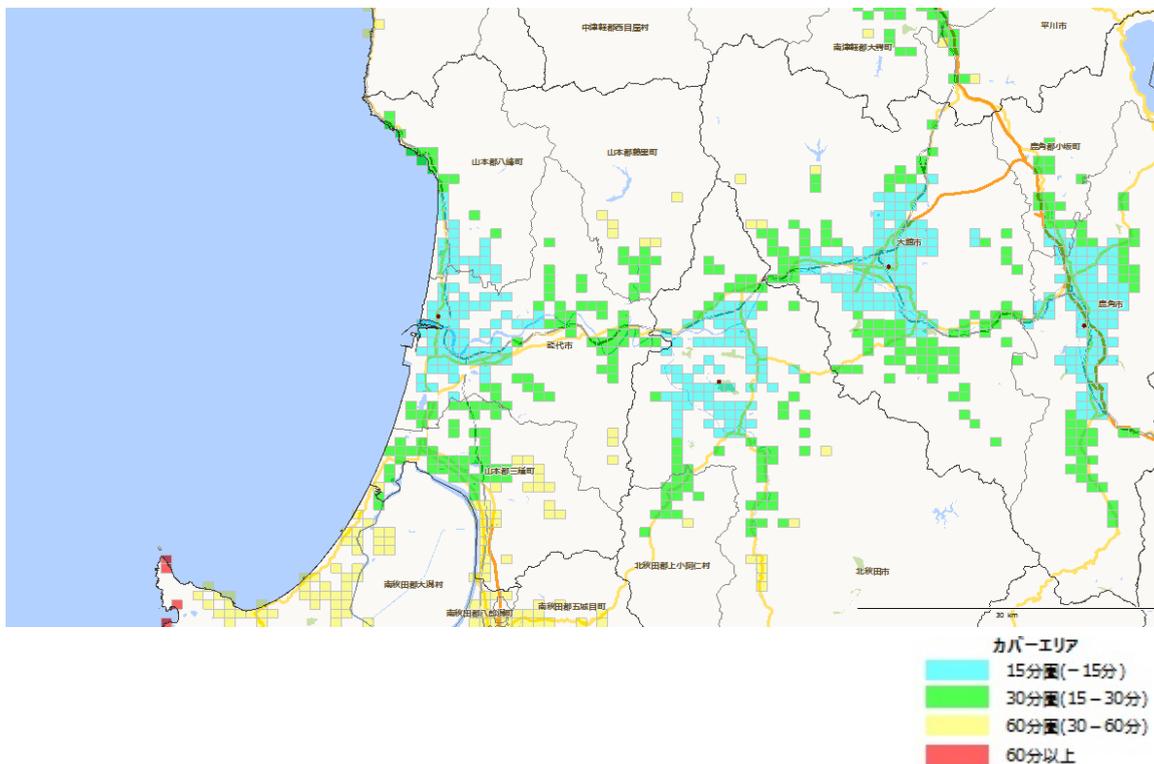
(能代・山本医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)





## (秋田周辺医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 秋田周辺(秋田市)は、総人口約401千人(2015年)、面積1695km<sup>2</sup>、人口密度は237人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 秋田周辺の総人口は2025年に359千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に291千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には79千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 秋田周辺の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値63)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 秋田周辺の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.01で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が57(病院医師数60、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。秋田周辺には、年間全身麻酔件数が2000例以上の秋田大学医学部附属病院(I群)、1000例以上の秋田厚生医療センター(III群)、秋田赤十字病院(III群・救命)、中通総合病院(III群)、市立秋田総合病院(III群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 秋田周辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6174人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3916床(偏差値52)、高齢者住宅等が2258床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5795人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム44、軽費ホーム53、グループホーム45、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、796人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (秋田周辺医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

秋田周辺医療圏の総人口は、2005年432434人が、2015年に400911人と7%減少し、2025年の人口が359151人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

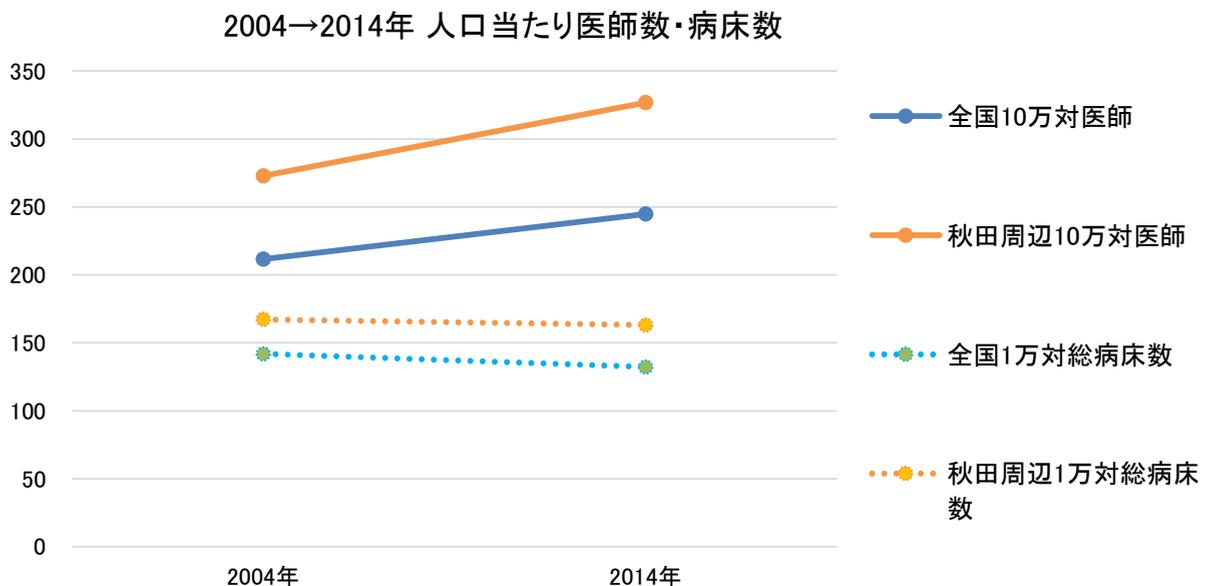
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が30(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に28(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が326(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に348(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、22診療所が増加した。

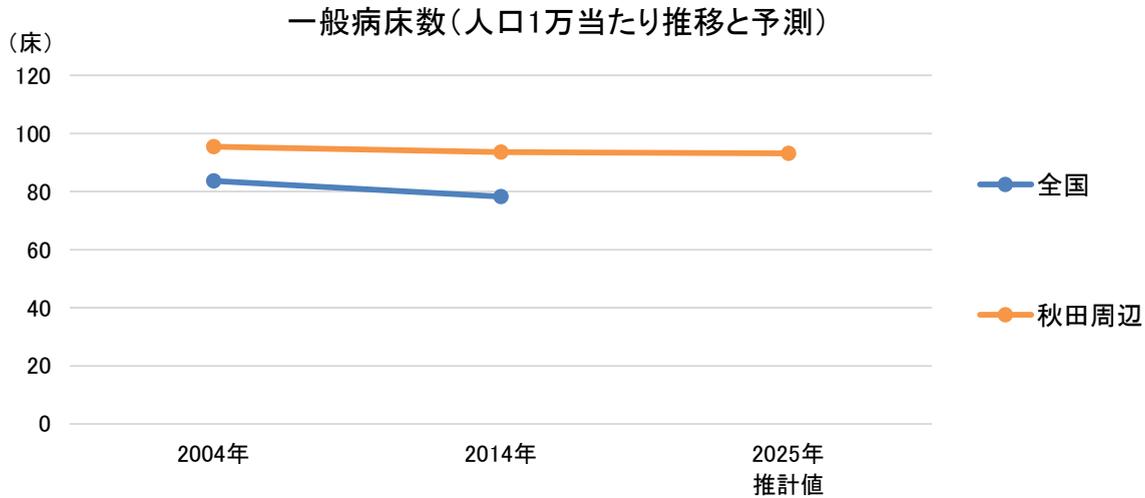
2004年の総病床数が7232床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に6539床(人口1万人当たり163(全国平均132)偏差値55)と、693床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1180人(人口10万人当たり273人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に1310人(人口10万人当たり327人(全国平均245人)偏差値59)と、130人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



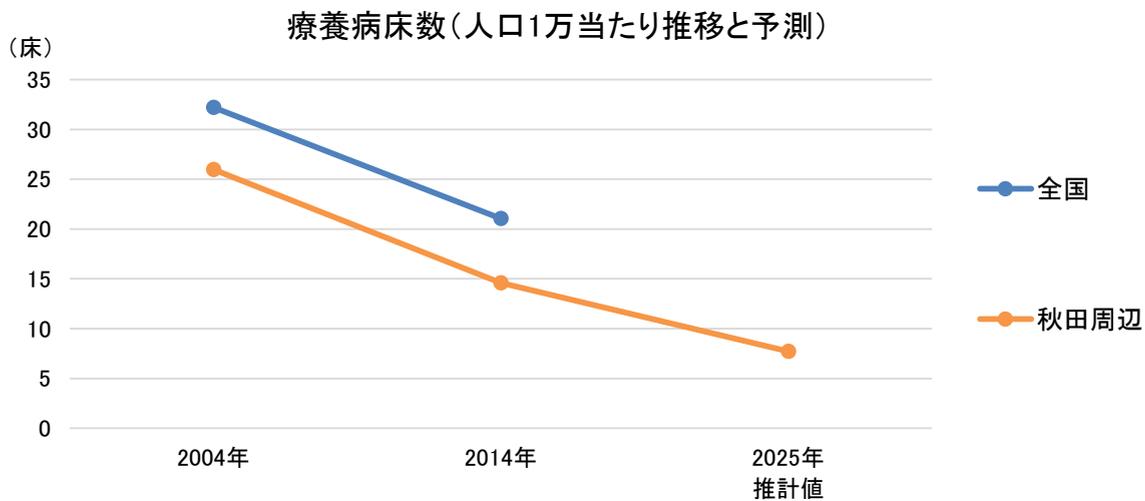
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が4125床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に3753床(人口1万人当たり94(全国平均78)偏差値56)と、372床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3344床(2025年の推計人口1万人当たり93)になることが予想される。



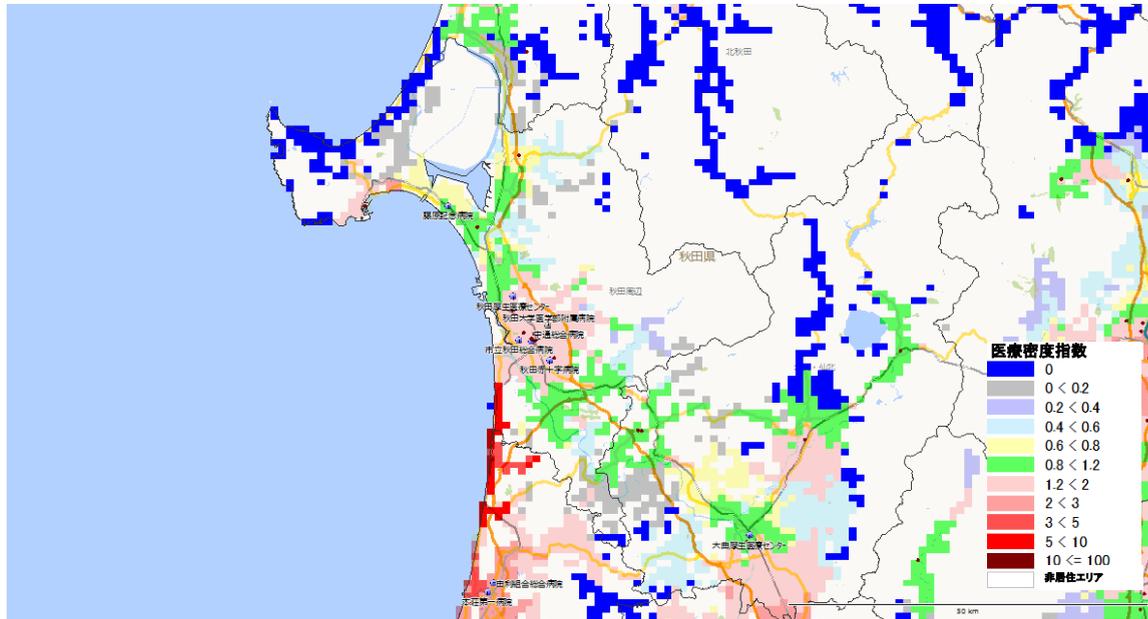
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が1169床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に892床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、277床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には587床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



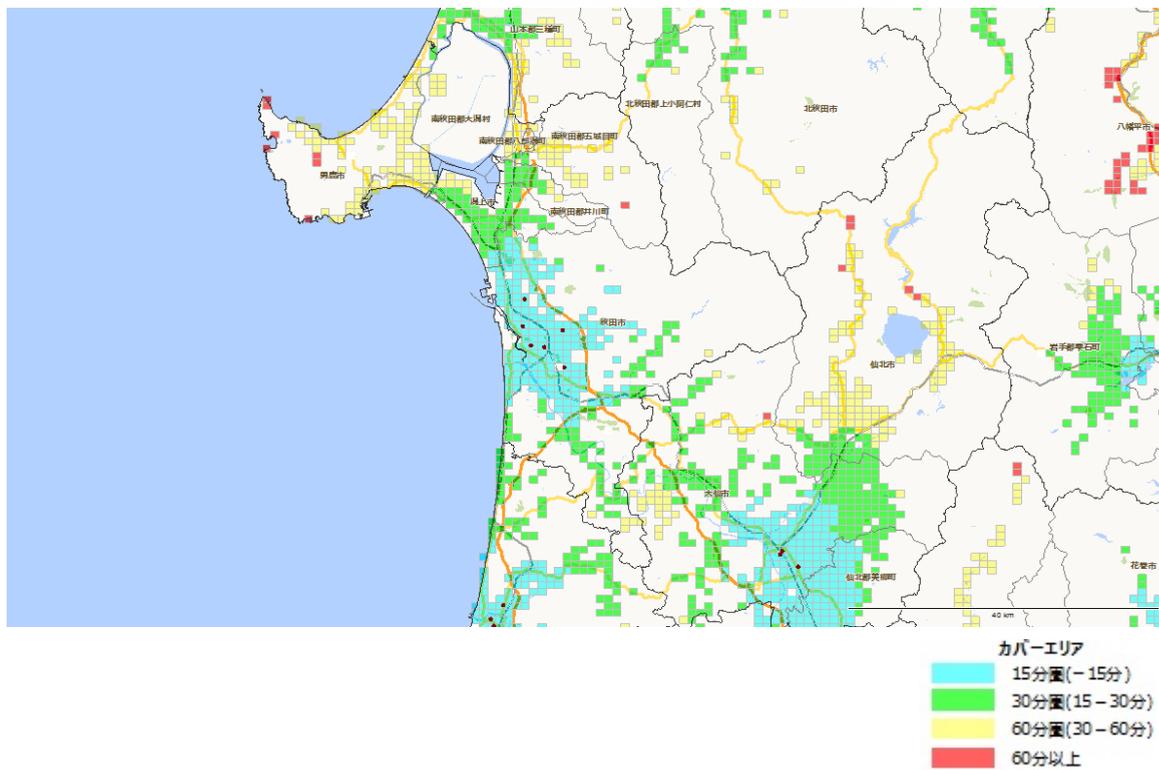
(秋田周辺医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

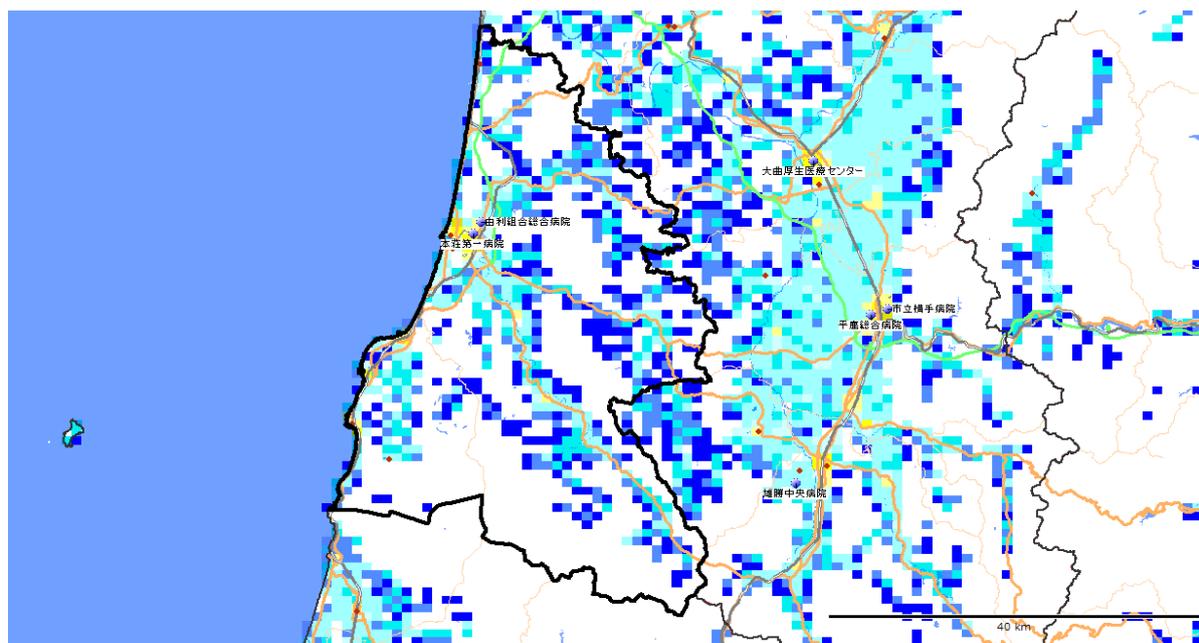
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 5-5. ゆりほんじょう 由利本荘・にかほ医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [由利本荘市](#) [にかほ市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (由利本荘・にかほ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 由利本荘・にかほ(由利本荘市)は、総人口約105千人(2015年)、面積1451km<sup>2</sup>、人口密度は73人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 由利本荘・にかほの総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に74千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には21千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 由利本荘・にかほの一人当たり医療費(国保)は394千円(偏差値61)、介護給付費は301千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 由利本荘・にかほの一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.85、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.29で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。由利本荘・にかほには、年間全身麻酔件数が1000例以上の由利組合総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 由利本荘・にかほの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1731人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1413床(偏差値60)、高齢者住宅等が318床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1783人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム51、グループホーム45、サ高住38である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値28と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、175人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(由利本荘・にかほ医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

由利本荘・にかほ医療圏の総人口は、2005年118527人が、2015年に105251人と11%減少し、2025年の人口が93758人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

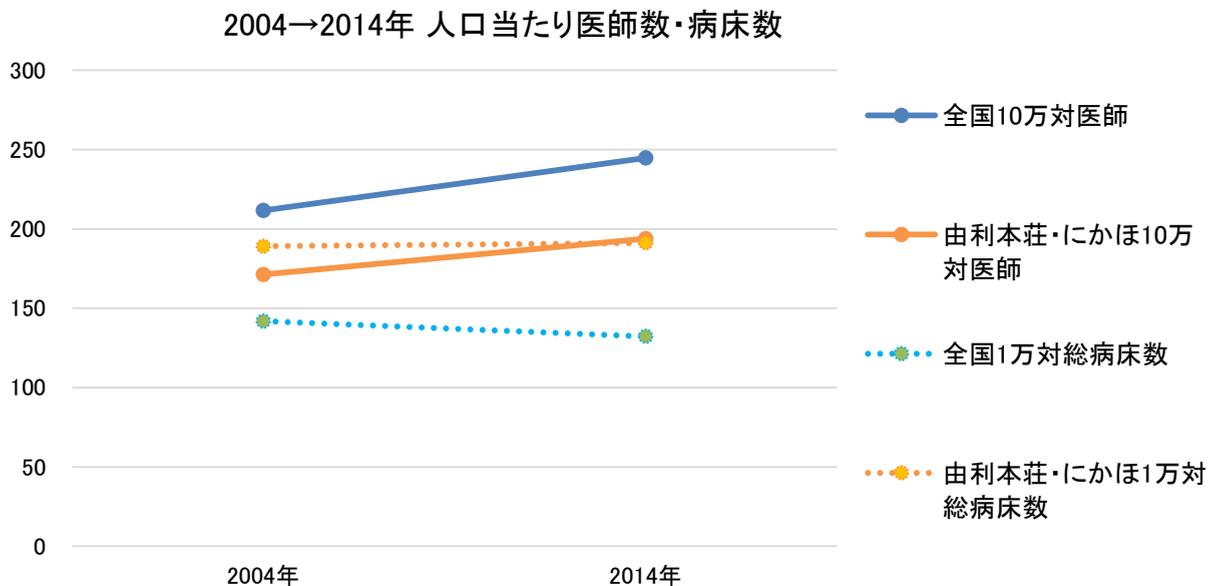
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に8(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が77(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に81(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、4診療所が増加した。

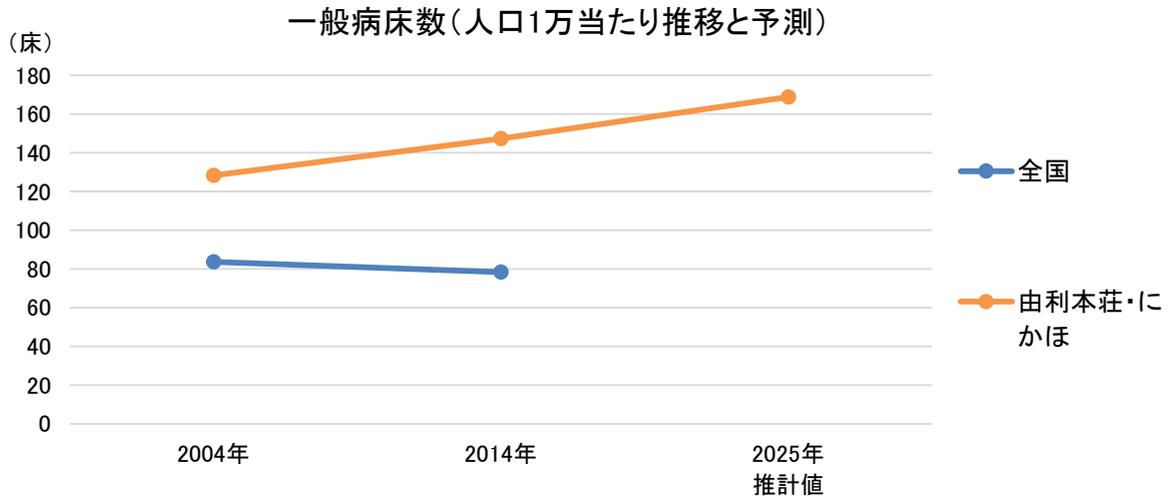
2004年の総病床数が2241床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2012床(人口1万人当たり191(全国平均132)偏差値60)と、229床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が203人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に204人(人口10万人当たり194人(全国平均245人)偏差値45)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



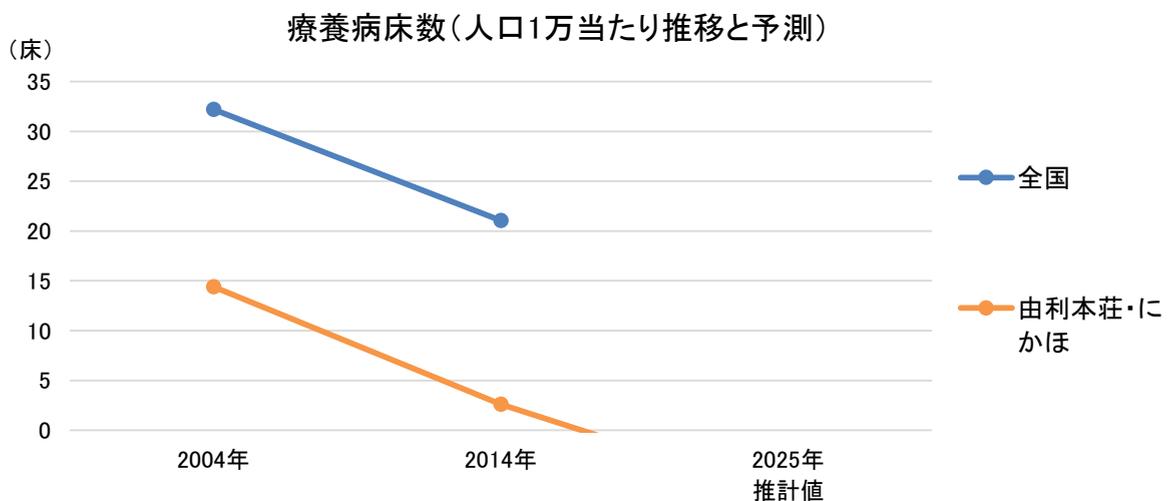
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1521床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に1550床(人口1万人当たり147(全国平均78)偏差値75)と、29床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1582床(2025年の推計人口1万人当たり169)になることが予想される。



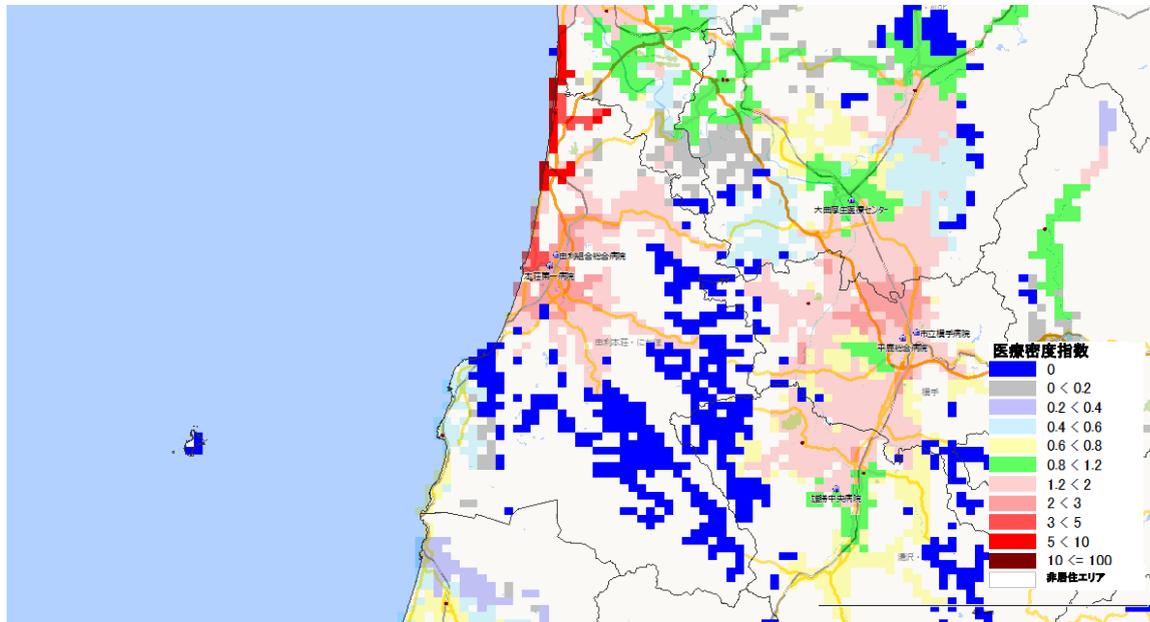
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が224床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に50床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値34)と、174床の減少、率にして78%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-141床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-7)になることが予想される。



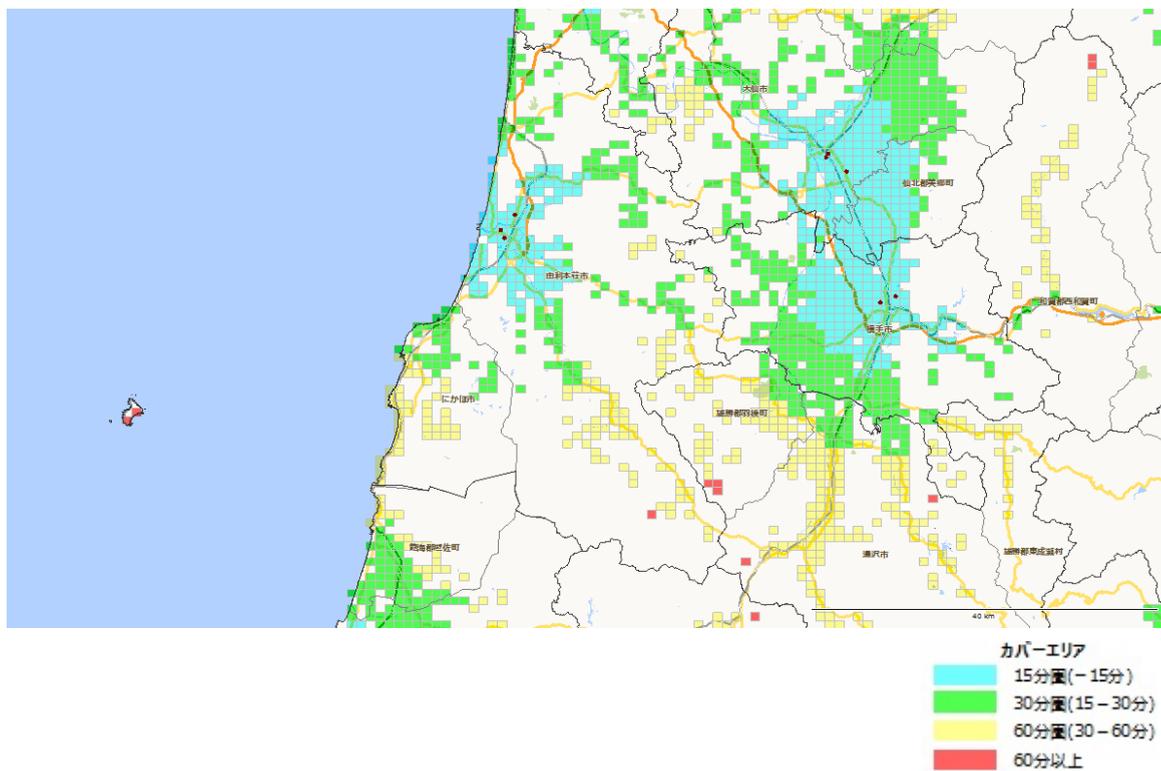
(由利本荘・にかほ医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

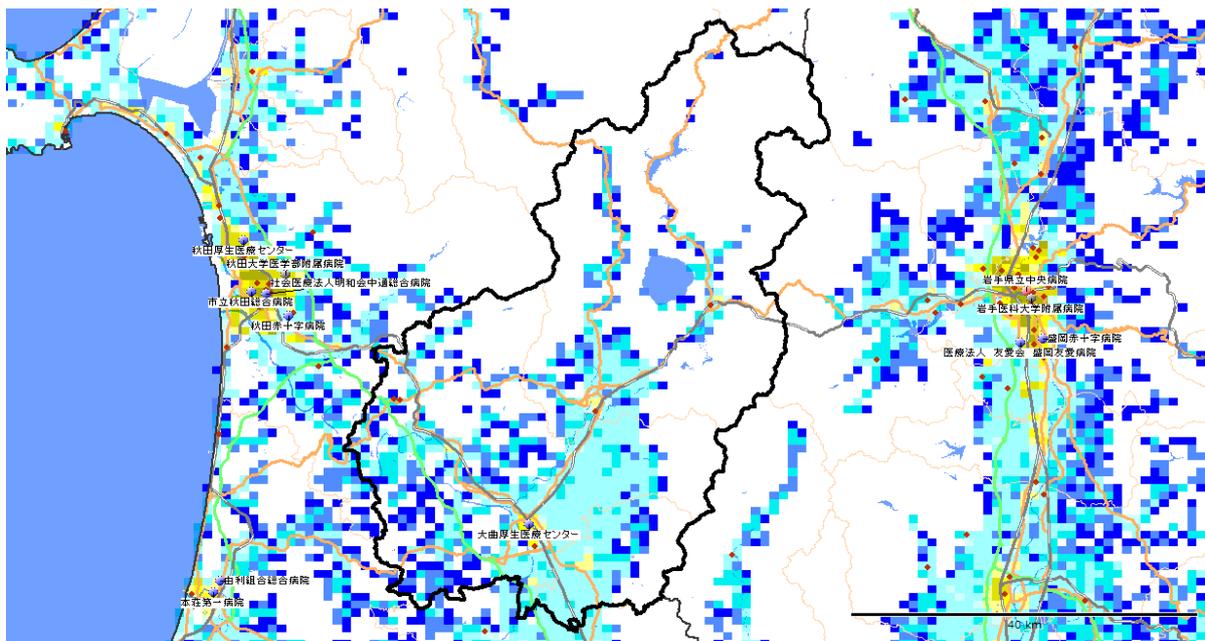
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 5-6. だいせん せんぼく 大仙・仙北医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [大仙市](#) [仙北市](#) [美郷町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大仙・仙北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大仙・仙北(大仙市)は、総人口約131千人(2015年)、面積2129km<sup>2</sup>、人口密度は61人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 大仙・仙北の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に85千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大仙・仙北の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値50)、介護給付費は311千円(偏差値67)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大仙・仙北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数39、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。大仙・仙北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の大曲厚生医療センター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大仙・仙北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2673人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1687床(偏差値52)、高齢者住宅等が986床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2511人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム44、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、269人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (大仙・仙北医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

大仙・仙北医療圏の総人口は、2005年148258人が、2015年に130585人と12%減少し、2025年の人口が111415人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

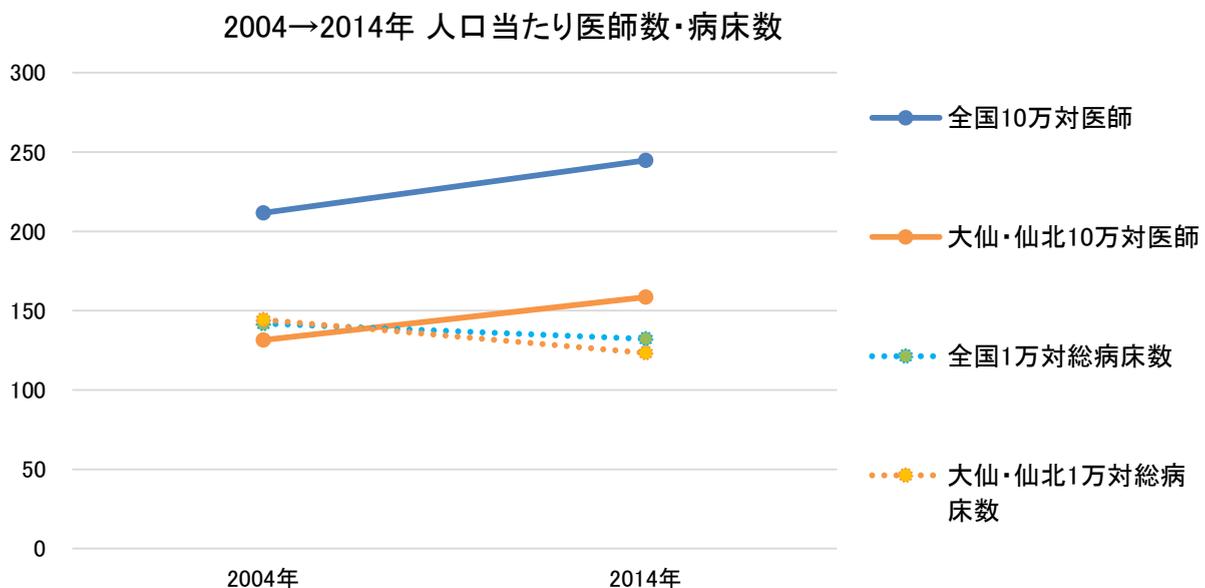
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり5.4病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に98(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、2診療所が減少した。

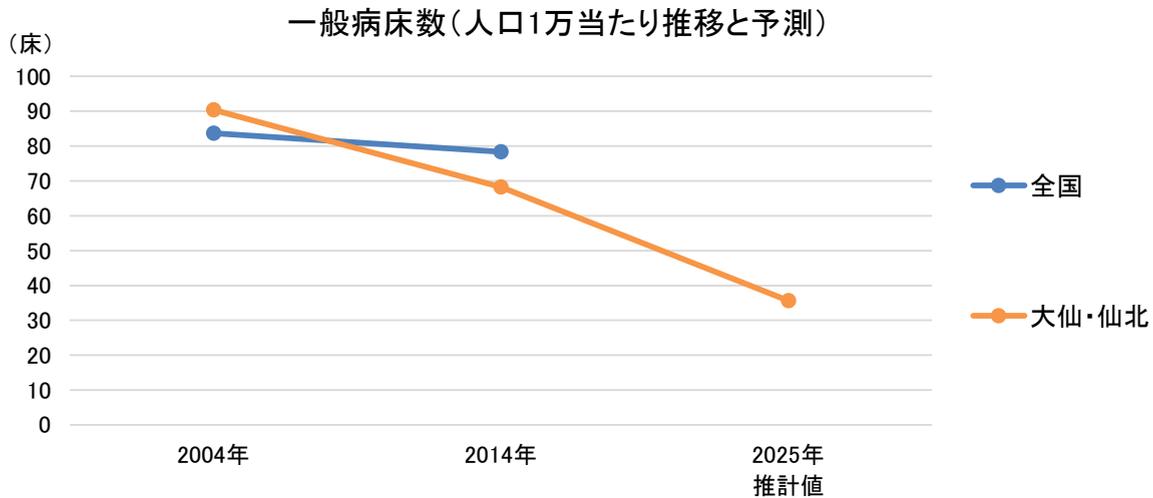
2004年の総病床数が2141床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1611床(人口1万人当たり123(全国平均132)偏差値48)と、530床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が195人(人口10万人当たり132人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に207人(人口10万人当たり159人(全国平均245人)偏差値41)と、12人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



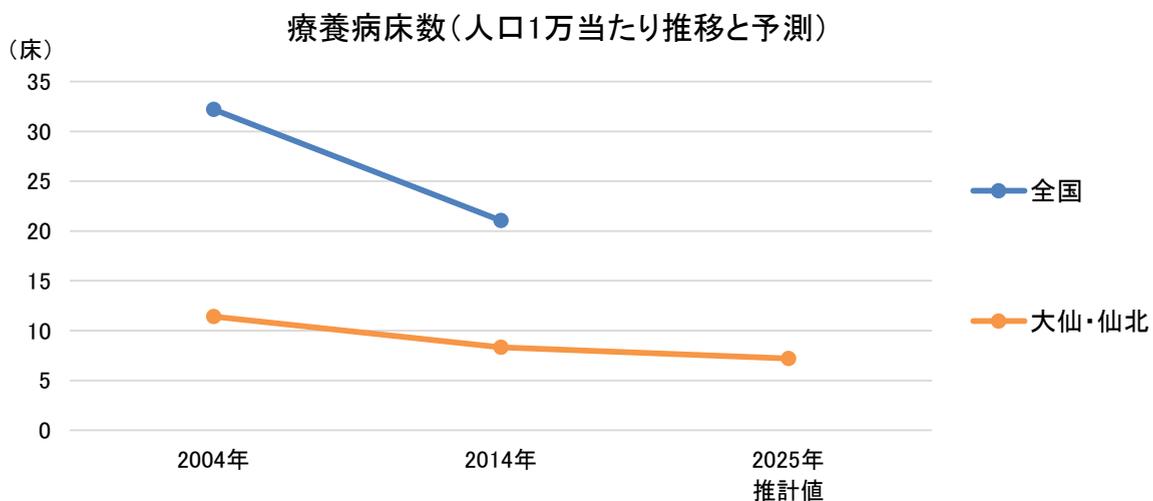
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1340床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に891床(人口1万人当たり68(全国平均78)偏差値46)と、449床の減少、率にして34%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には397床(2025年の推計人口1万人当たり36)になることが予想される。



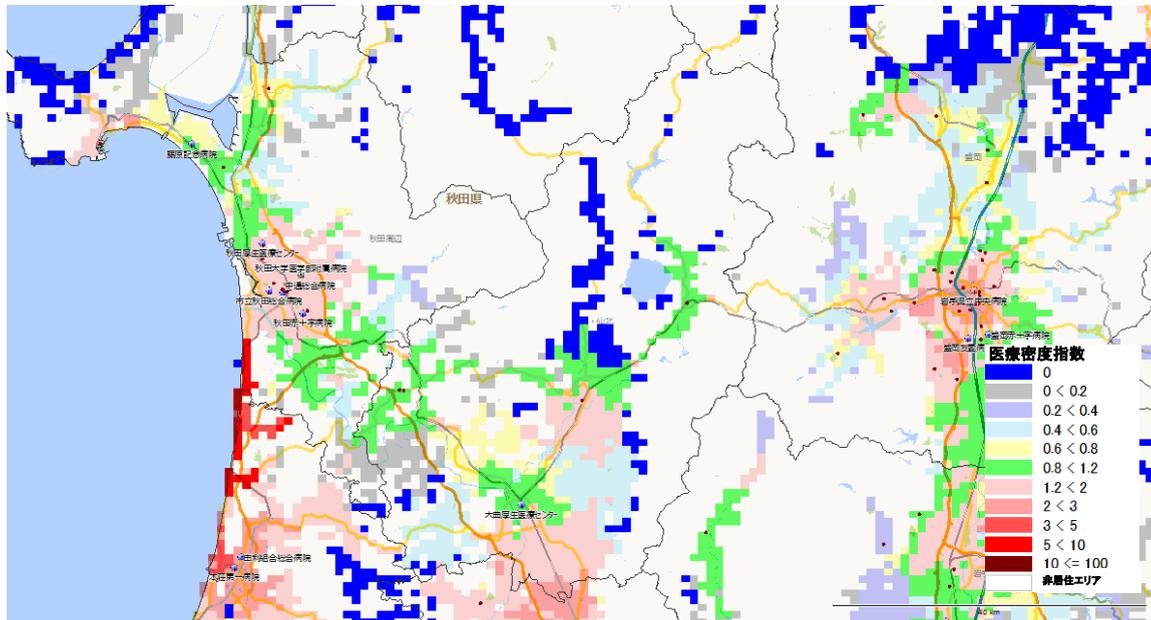
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が247床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に221床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、26床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には192床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



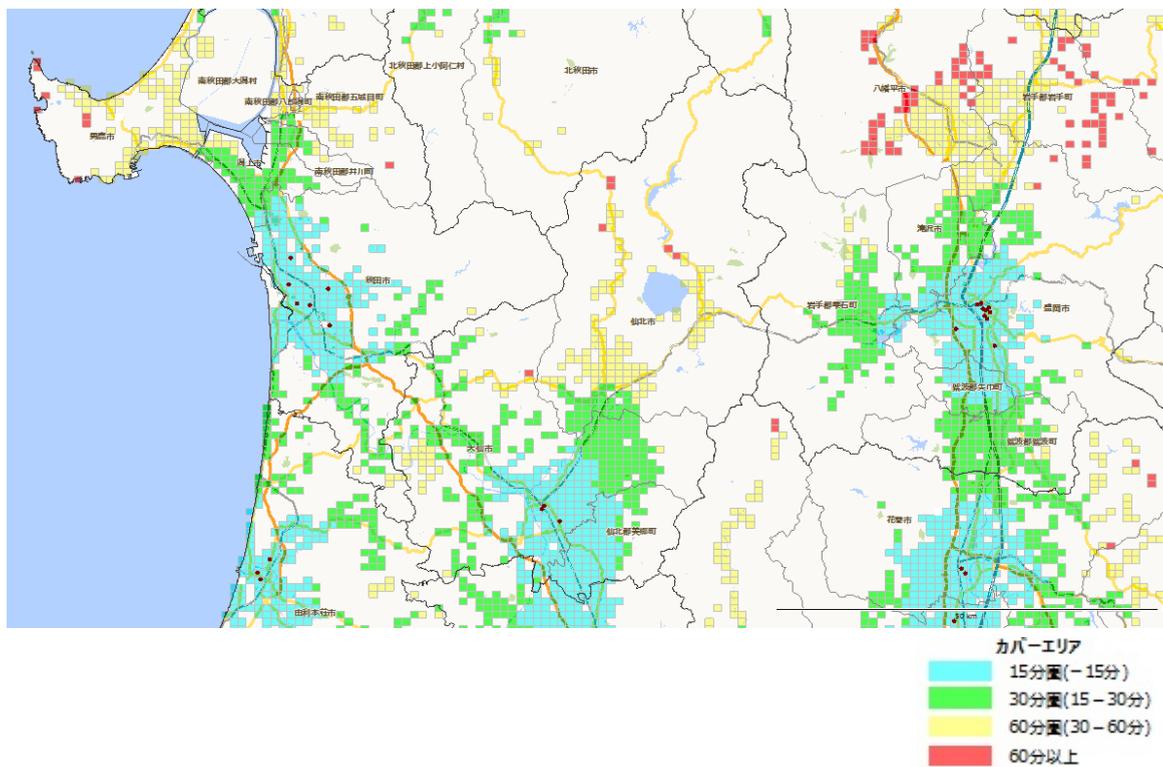
(大仙・仙北医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

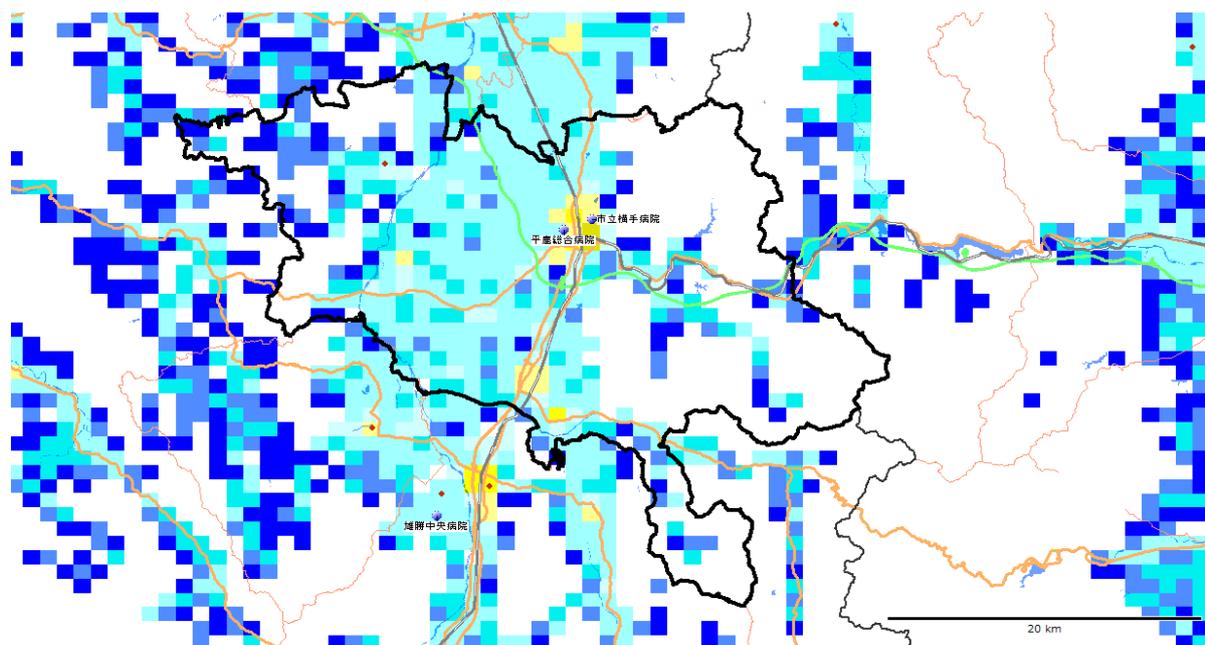
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# よこて 5-7. 横手医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [横手市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (横手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 横手(横手市)は、総人口約92千人(2015年)、面積693km<sup>2</sup>、人口密度は133人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 横手の総人口は2025年に80千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に63千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて19千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 横手の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値53)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 横手の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.36、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.38で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。横手には、年間全身麻酔件数が1000例以上の平鹿総合病院(Ⅲ群)、500例以上の市立横手病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 横手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1372人(75歳以上1000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が833床(偏差値37)、高齢者住宅等が539床(偏差値42)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1638人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム35、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム39、軽費ホーム56、グループホーム53、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、225人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横手医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横手医療圏の総人口は、2005年103652人が、2015年に92197人と11%減少し、2025年の人口が80422人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

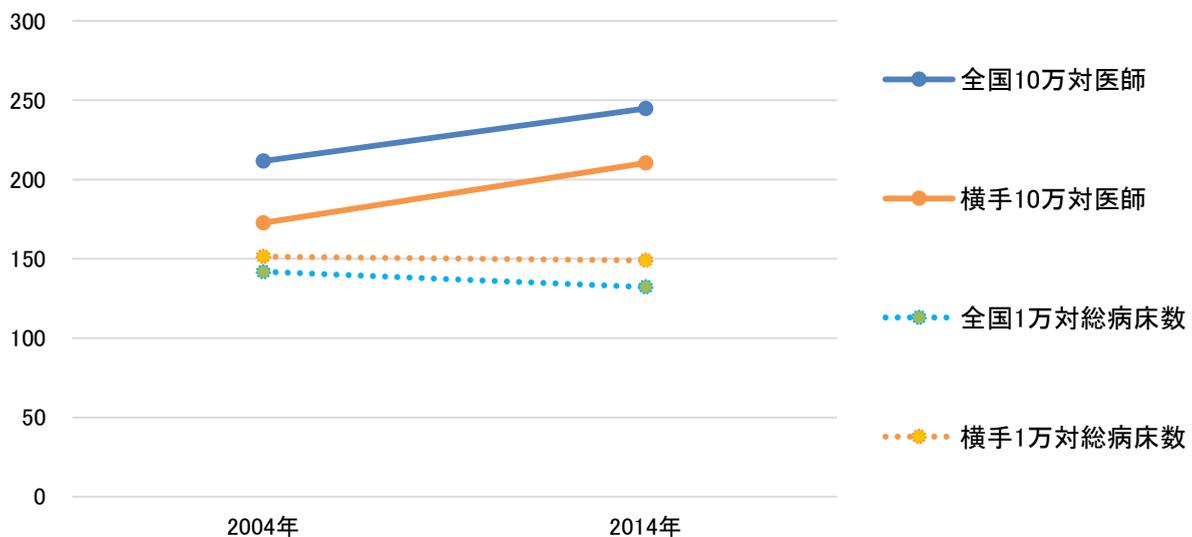
2004年の病院数が4(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に4(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に81(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値55)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1570床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に1374床(人口1万人当たり149(全国平均132)偏差値53)と、196床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

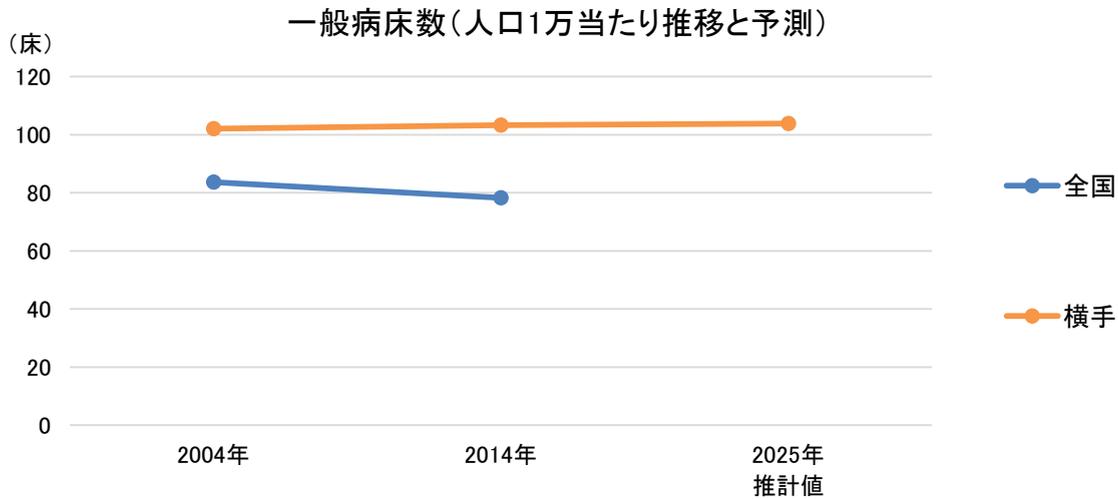
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が179人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に194人(人口10万人当たり210人(全国平均245人)偏差値46)と、15人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



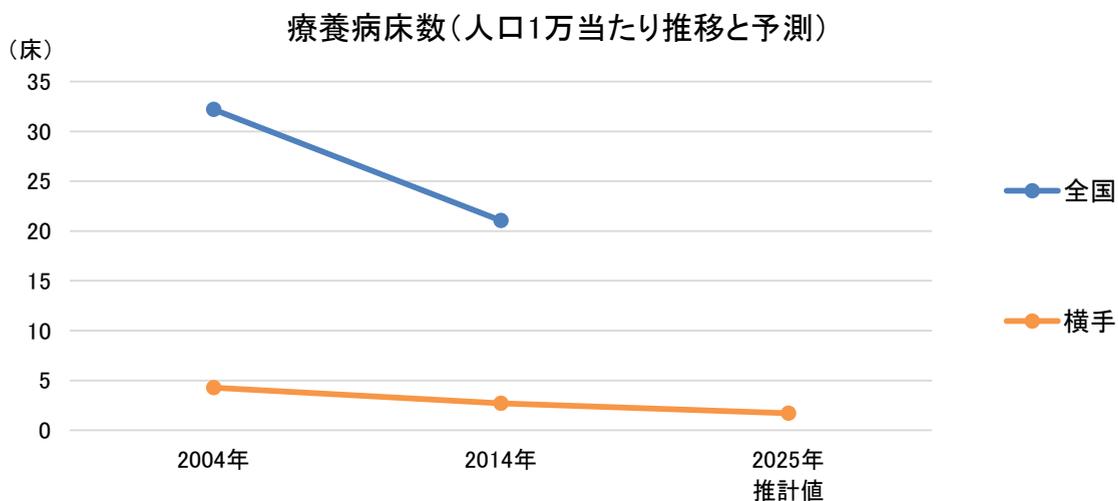
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1058床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に952床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、106床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には835床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



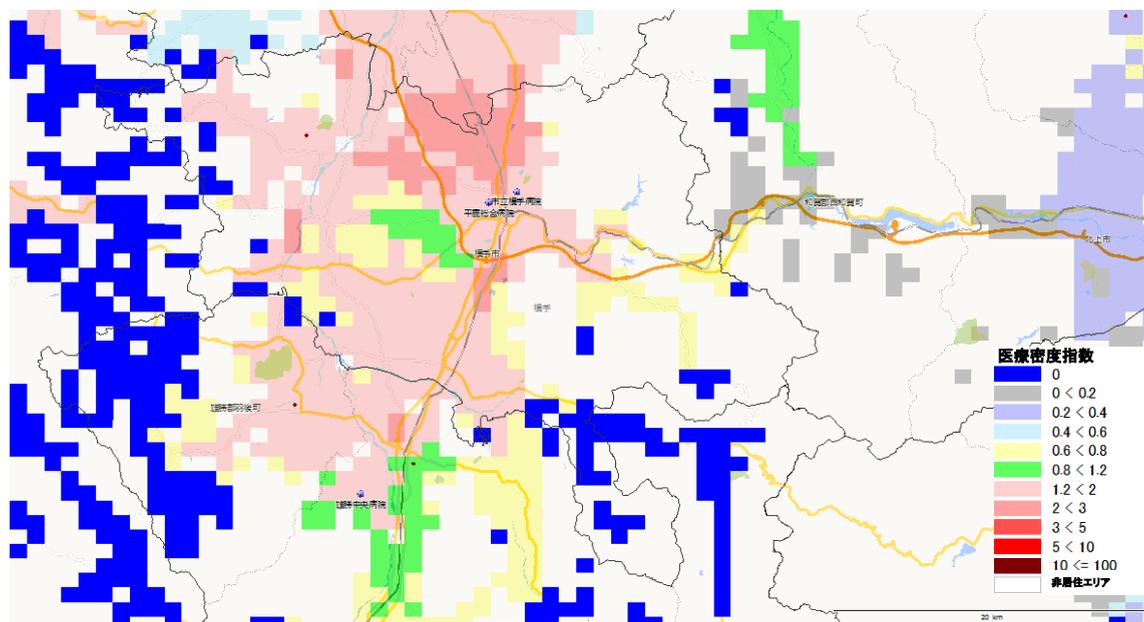
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が66床(75歳以上1000人当たり4(全国平均32)偏差値34)であったが、2014年に50床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値34)と、16床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には32床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。



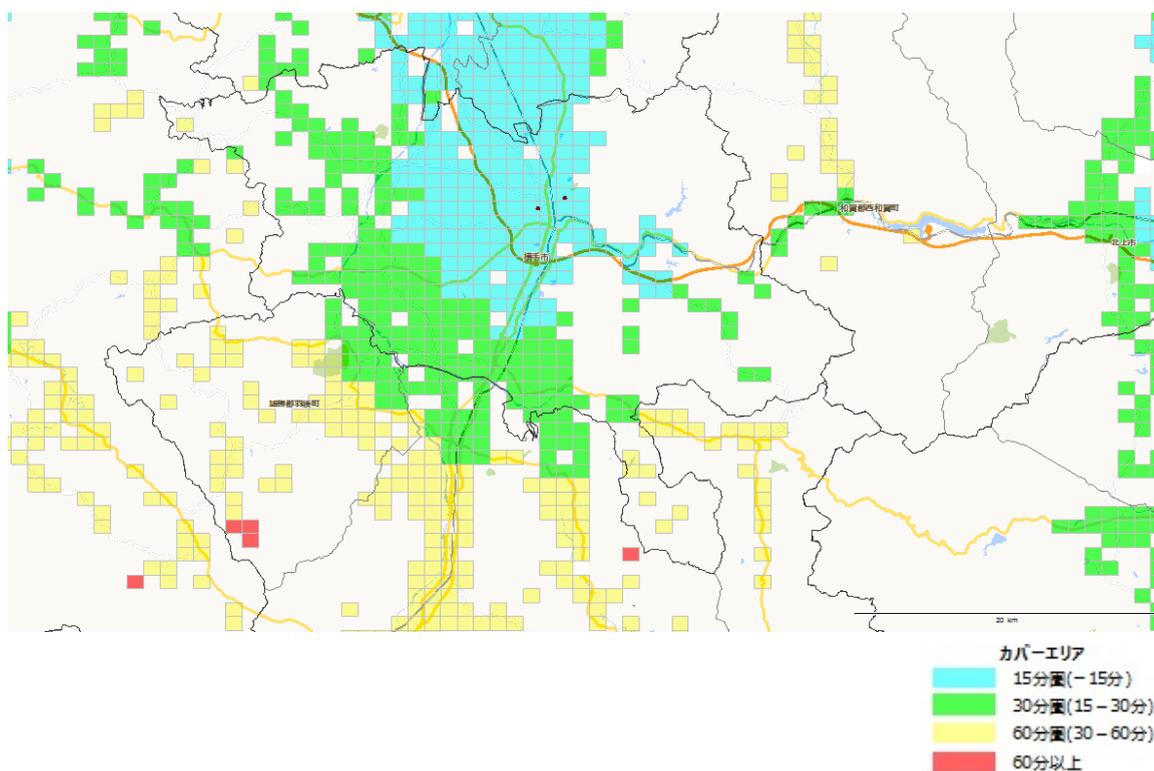
(横手医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

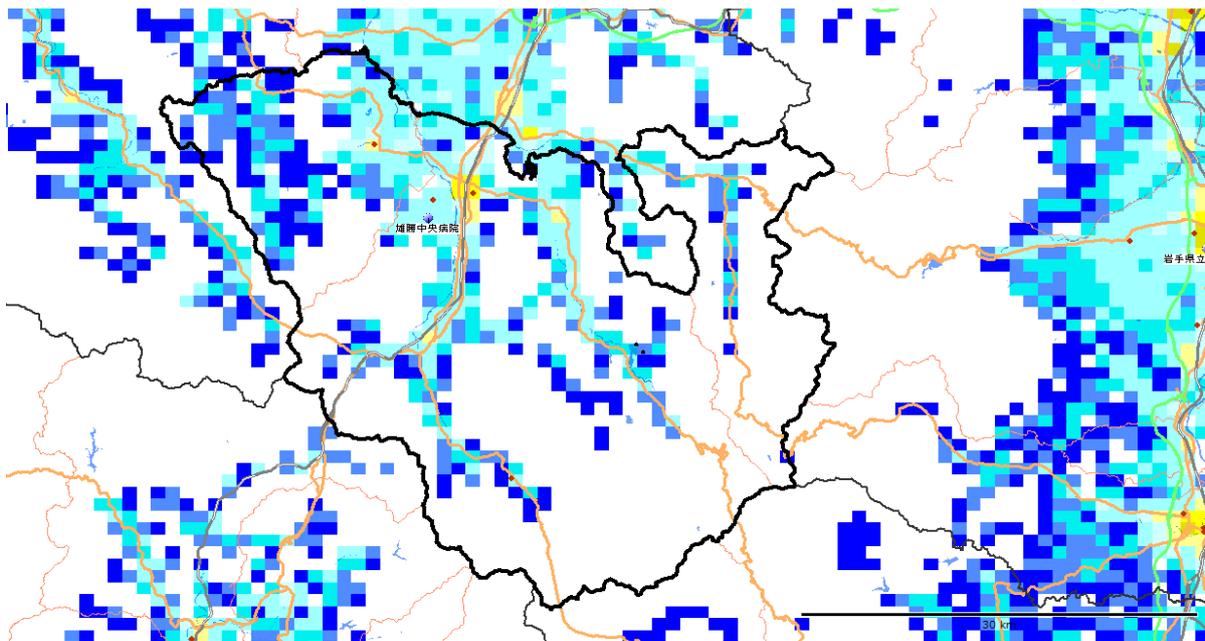
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 5-8. ゆざわ おがち 湯沢・雄勝医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [湯沢市](#)      [羽後町](#)      [東成瀬村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (湯沢・雄勝医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 湯沢・雄勝(湯沢市)は、総人口約65千人(2015年)、面積1225km<sup>2</sup>、人口密度は53人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 湯沢・雄勝の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 湯沢・雄勝の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値49)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 湯沢・雄勝の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.68で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が35(病院医師数37、診療所医師数34)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。湯沢・雄勝には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 湯沢・雄勝の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1195人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が916床(偏差値56)、高齢者住宅等が279床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1069人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値29と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、92人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (湯沢・雄勝医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

湯沢・雄勝医療圏の総人口は、2005年76737人が、2015年に64542人と16%減少し、2025年の人口が53779人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

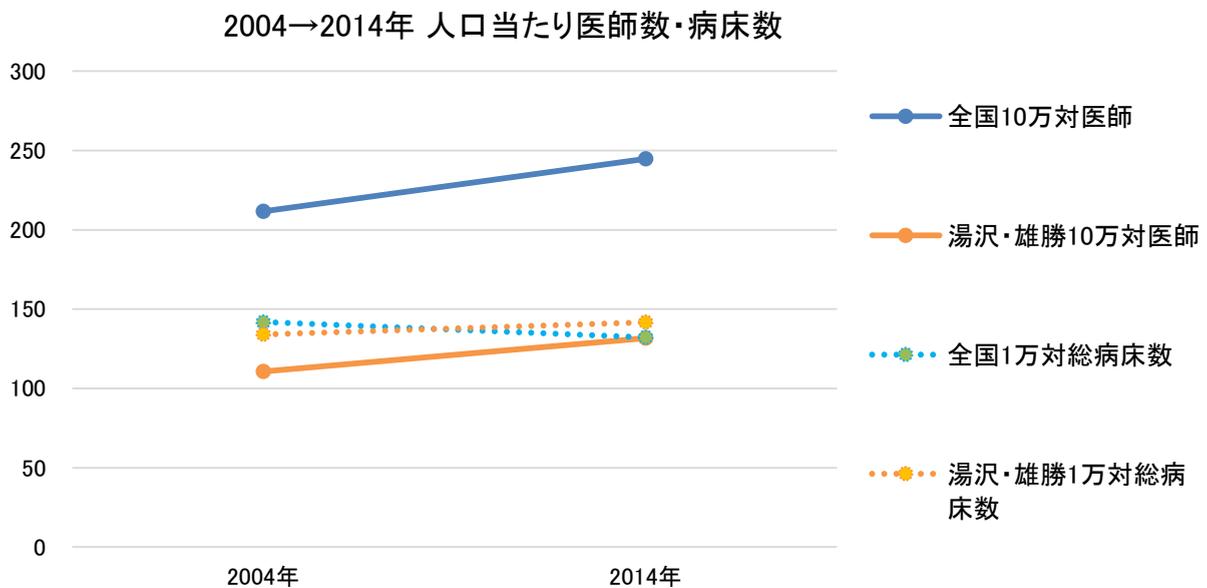
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり6.5病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に5(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が40(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に41(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、1診療所が増加した。

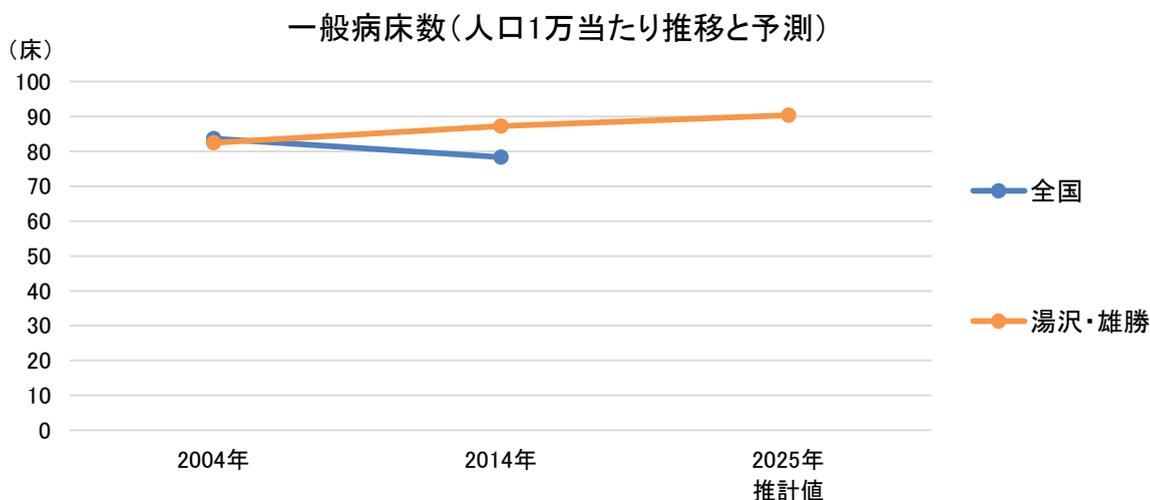
2004年の総病床数が1029床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に915床(人口1万人当たり142(全国平均132)偏差値52)と、114床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が85人(人口10万人当たり111人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に85人(人口10万人当たり132人(全国平均245人)偏差値38)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



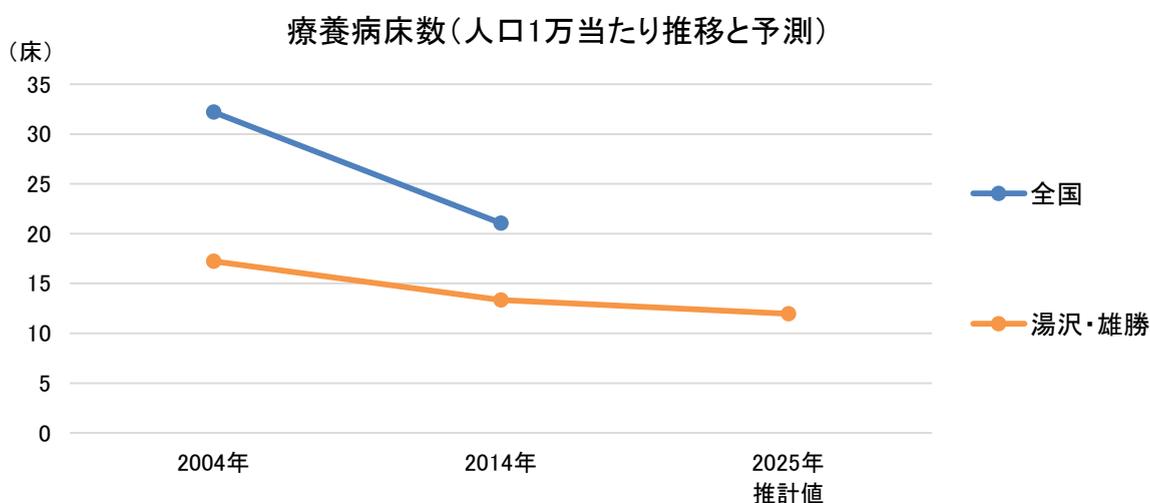
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が633床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に563床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、70床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には486床(2025年の推計人口1万人当たり90)になることが予想される。



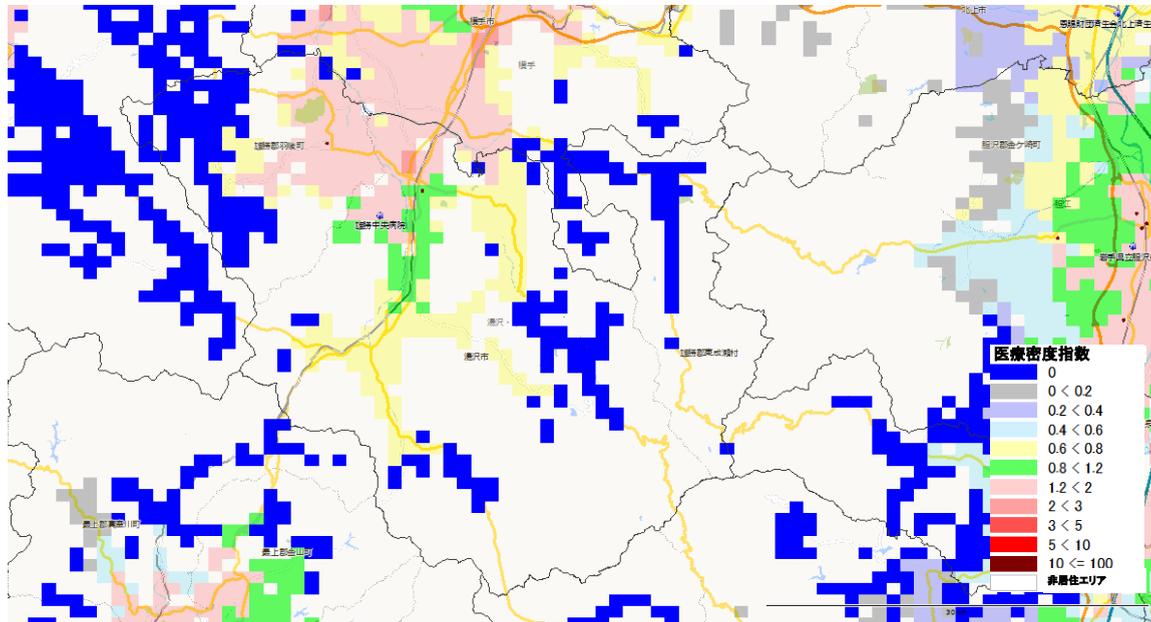
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が201床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に178床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、23床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には153床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



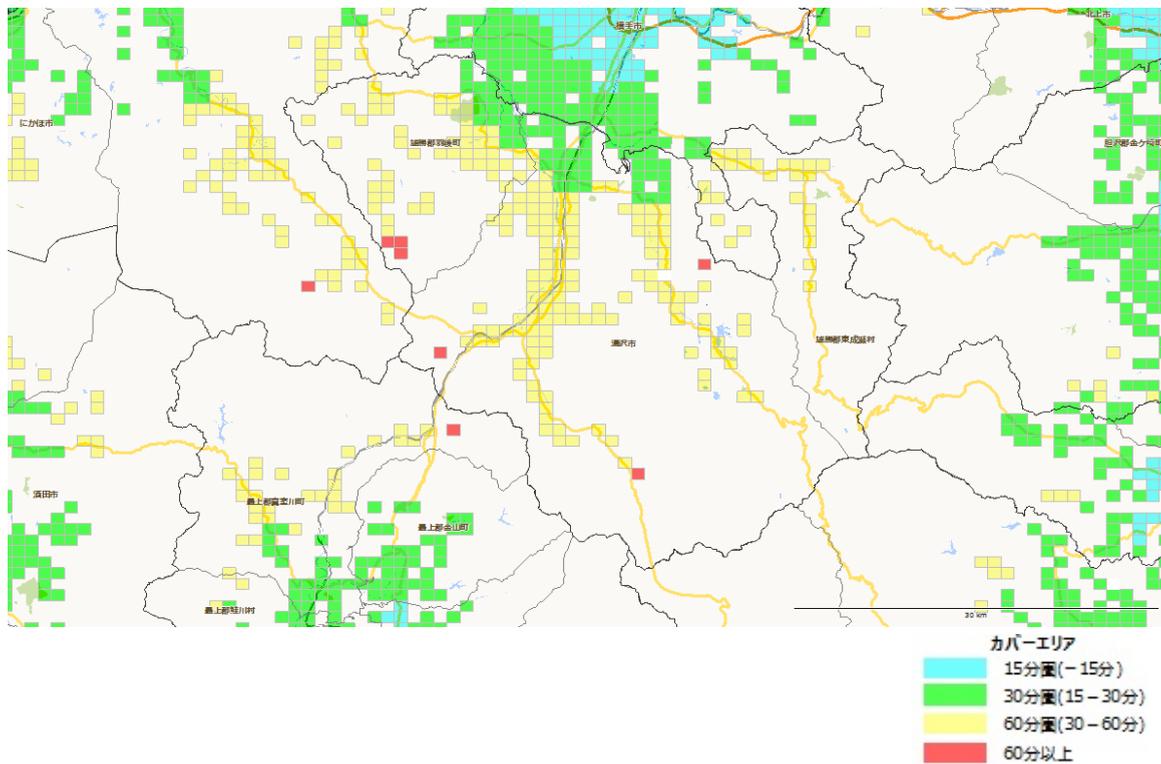
(湯沢・雄勝医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表5-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 5.秋田県(2017年版)

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。